

## 農林水産部県営工事成績評定実施要領

### （目 的）

**第1条** この要領は、農林水産部所管県営工事の土木請負工事の成績評定（以下「評定」という。）に必要な事項を定め、厳正かつ的確な評定の実施を図り、もって請負業者の適正な選定及び指導育成に資することを目的とする。

### （評定の対象）

**第2条** 評定は、工事の完成検査又は一部完成検査にあつては、原則として1件の最終請負金額が250万円以上の請負工事について行うものとする。工事の中間検査にあつては、原則として当初請負金額が2億5千万円以上（建築一式は4億5千万円以上）の請負工事について評定を行うものとする。ただし、総価契約単価取決方式による工事、点検・清掃・除草等の作業、並びに災害に伴う緊急工事及び応急工事については、評定の対象外とする。また、電気、ガス、水道又は電話の引込工事等で契約担当者が評定の必要がないと認めたものについては、評定を省略することができる。

### （評定者）

**第3条** 工事成績の評定者（以下「評定者」という。）は、「兵庫県工事検査規程」（昭和53年4月1日訓令第7号）第6条及び「農林水産土木工事検査取扱要領」（昭和59年5月31日付け農第174号）第2条に定める検査員、並びに「農林水産土木工事監督要領」（昭和63年8月2日付け農第408号）第2条に定める総括監督員及び主任監督員とする。

### （評定の方法）

**第4条** 評定は、工事ごとに独立して行うものとする。

- 2 評定は、監督又は検査により確認した事項に基づき、評定者ごとに独立して的確かつ公正に行うものとする。
- 3 評定は、工事の完成検査、中間検査、一部完成検査のとき、それぞれ行うものとする。なお、完成検査の評定にあたつては、中間検査及び一部完成検査で行った評定を勘案した総合評定で行うものとする。
- 4 評定は、別記様式第1「土木工事成績採点表」（以下「採点表」という。）により行うものとする。
- 5 細目別評定点は、別記様式第2「細目別評定点採点表」により算出するものとする。
- 6 評定結果は、別記様式第3「土木工事成績評定表」に記録するものとする。

### （評定結果の提出等）

**第5条** 評定者は、評定を行ったときは、採点表を契約担当者に提出するものとする。

### （評定結果の通知）

**第6条** 契約担当者は、前条により評定者から採点表の提出があつたときは、一部完成検査及び中間検査の採点表を除き、当該工事の受注者に対して、別途定める「農政環境部県営工事成績評定の通知及び公表要領」（平成22年6月18日付け農第1111号。以下「通知公表要領」という。）により、評定結果を通知するものとする。

**（評定の修正）**

**第7条** 評定者は、第5条により採点表を契約担当者に提出した後、当該評定を修正する必要があると認められる場合は、これを修正しなければならない。

- 2 評定者は、前項により評定の修正を行ったときは、修正した採点表を契約担当者に提出するものとする。
- 3 契約担当者は、前項により評定者から修正した採点表の提出があったときは、当該工事の受注者に対して、通知公表要領に定めるところにより、修正結果を通知するものとする。

**（説明請求等）**

**第8条** 第6条又は前条第3項の通知を受けた者は、通知の日から起算して21日（「休日」を含む。）以内に、書面により、通知を行った契約担当者に対して評定の内容について説明を求めることができる。

- 2 契約担当者は、前項による説明を求められたときは、通知公表要領に定めるところにより、回答するものとする。

**（評定結果等の公表）**

**第9条** 契約担当者は、第6条又は第7条第3項の通知をしたときは、通知公表要領に定めるところにより、評定結果又は修正結果を公表するものとする。

- 2 契約担当者は、前条第2項の回答をしたときは、通知公表要領に定めるところにより、通知を受けた者が評定の内容について説明を求めた書面及び契約担当者が回答した書面を公表するものとする。

附 則

この要領は、平成21年4月1日から適用する。

附 則

この要領は、平成22年7月1日から適用する。

ただし、建築工事については、なお従前の例による。

附 則

この要領は、平成24年11月1日から適用する。

附 則

この要領は、平成27年2月1日から適用する。

附 則

この要領は、平成30年4月1日から適用する。

附 則

この要領は、令和5年10月1日から適用する。

## 農林水産部県営工事成績評定実施要領 細則

農林水産部県営工事成績評定実施要領（平成21年4月1日適用）の細則を次のとおり定める。

第1条 「農林水産部県営工事成績評定実施要領」第2条中「工事の中間検査にあつては、原則として当初請負金額が2億5千万円以上（建築一式は4億5千万円以上）の請負工事について評定を行う」について、以下のとおり定めるものとする。

### （1）対象外工事

中間検査の評定は、当初請負金額が2億5千万円以上（建築一式は4億5千万円以上）の請負工事であっても、構造物を扱わない工種に限られる工事（浚渫工や運搬工等）や、施工中の出来形確認が困難な設備工事（工場製作等）等は、対象としない。

### （2）評定者

中間検査の評定は、検査員のみが行う。

### （3）検査基準日

- ・いつ時点の成果まで中間検査するか（以下「検査基準日」という。）、受発注者間で協議のうえ決定する。
- ・中間検査時の指導内容が、以後の施工管理に十分活かされるように、検査基準日は契約工期の概ね中程に設定する。
- ・受注者の準備期間を考慮し、検査基準日から十分な期間（一ヶ月など）を確保して中間検査を行う。

### （4）施工管理の評定

中間検査の施工管理の評定は、検査基準日までの施工管理全般を対象とする。

### （5）出来形・品質・出来ばえの評定

中間検査の出来形・品質・出来ばえの評定は、評定構造物を対象とする。

### （6）評定構造物

- ・中間検査の評定構造物は、検査基準日に完成している構造物を対象とし、検査基準日に完成している構造物や完成している構造物のうち一部の工種を、原則、評定構造物から外さない（完成した橋脚の杭基礎は評定対象から外さない等）。
- ・検査基準日に施工途中の構造物も評定構造物の対象にできるものとし、評定構造物に施工途中の構造物を加えるかどうかは、受発注者間で協議のうえ決定する。
- ・中間検査の評定構造物は、図面に着色して明示する。
- ・その他の構造物については、評定に反映せず、受注者の指導に留める。
- ・中間検査で評定を行った工事の完成検査では、中間検査の評定構造物は、原則、評定の対象としない。

**(7) 考査項目別運用表（品質・出来ばえの評定）**

- ・ 中間検査では、評定構造物の出来形数量から評価対象工種選定表を作成し、品質・出来ばえの考査項目別運用表を選定のうえ、品質・出来ばえを評定する。
- ・ 完成検査では、残工事分の出来形数量から評価対象工種選定表を作成し、品質・出来ばえの考査項目別運用表を選定のうえ、品質・出来ばえを評定する。

**(8) 評定点の算定**

評定点の算定は次のとおりとする。中間検査を2回以上行う場合は、各回の中間検査の平均点で評定する。

評定点合計＝主任監督員×0.4＋総括監督員×0.2

＋検査員（中間検査※×0.1＋完成検査×0.3）

※ 中間検査を複数回行った場合は、平均点で評定する。

附 則

この細則は、平成30年4月1日から適用する。

附 則

この要領は、令和5年10月1日から適用する。

別記様式第1

土木工事成績採点表

令和      年      月      日      検査

県民局      事務所      課・室

令和      年度		工 事 番 号		事 業 名			工 事 名					請 負 金 額																			
		号										円																			
河川・路線・港湾・地区名等：							施工場所：                      市・郡                      町																								
工 種：		工 期：令和      年      月      日～令和      年      月      日					完成年月日：令和      年      月      日																								
受注者名：		現 場 代 理 人			専任補助者 □	監理技術者 または 主任技術者					監理技術者資格者証番号					監理技術者補佐															
※8																															
考査項目 ※1		主任監督員					総括監督員					検 査 員（ 中 間 ）										検 査 員（ 完 成 ）									
		補職名					補職名					補職名										補職名									
		氏 名					氏 名					氏 名										氏 名									
項目	細別	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e						
1. 施工体制	I. 施工体制一般	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10.0																									
	II. 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10.0																									
2. 施工状況	I. 施工管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0						+5.0		+2.5		0	-7.5	-15.0	+5.0		+2.5		0	-7.5	-15.0						
	II. 工程管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0	+6.0	+3.0	0	-7.5	-15.0																				
	III. 安全対策	+5.0	+2.5	0	-5.0	-10.0	+6.0	+3.0	0	-7.5	-15.0																				
	IV. 対外関係	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0																									
3. 出来形 及び 出来ばえ	I. 出来形	+4.0	+2.0	0	-2.5	-5.0						+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20.0	+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20.0						
	II. 品質	+5.0	+2.5	0	-2.5	-5.0						+15.0	+12.0	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25.0	+15.0	+12.0	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25.0						
	III. 出来ばえ											+5.0		+2.5		0	-5.0		+5.0		+2.5		0	-5.0							
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応 ※2						+      (≦20)		0																						
5. 創意工夫	I. 創意工夫 ※3	+      (≦7)		0																											
6. 社会性等	I. 地域への貢献等						+      (≦3)		0																						
加減点合計(1+2+3+4+5+6)		+      点					+      点					+      点										+      点									
評定点( 65 ± 加減点合計) ※4		①      点					②      点					③      点										④      点									
評定点計		⑤      点					○中間検査があった場合：(①      点×0.4+②      点×0.2+③      点×0.1+④×      点×0.3)＝      (但し、③は中間検査が2回以上の場合は平均値) ○中間検査がなかった場合：(①      点×0.4+②      点×0.2+④×      点×0.4)＝      点																								
7. 法令遵守等 ※5							⑥      点																								
評定点合計 ※6		⑦=⑤-⑥      点																													
8. 総合評価      総合評価の技術資料記載事項に対する履行の確認 ※7							履 行   不履行   対象外 (      項目)																								
所 見 ※9																															

※1      考査項目毎の採点は、主任監督員は別紙1－1～別紙1－8、総括監督員は別紙2－1～別紙2－4、検査員は別紙3－1～別紙3－33によるものとし、主任監督員、総括監督員、検査員の順に記載する。

※2      工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件(構造物の特殊性、特殊な技術、都市部等の作業環境・社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等)に対して適切に対応したことを評価する項目とする。  
評価は、加点評価のみとし、主任監督員からの報告を受けて総括監督員が行う。

※3      創意工夫は、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき評価内容があった場合に評価する項目とする。  
評価は、加点評価のみとし、主任監督員が行う。

※4      評定点    =    65点   ±   加減点合計(1～6の評定)  
評定点(①～④)、評定点計(⑤)は、小数第1位まで記入する。

※5      法令遵守等の評価は、減点評価のみとし、総括監督員が行う。

※6      評定点合計    =    評定点計    -    法令遵守等  
評定点合計は、四捨五入により整数とする。

※7      総合評価は、技術資料記載事項に対する履行が確認できない場合は、「不履行」を選択し、不履行の項目数を記載する。

※8      総合評価において、専任補助者を現場代理人として配置した場合、現場代理人右欄の□にレ点をチェックすること。

※9      所見は必ず記入する。

細目別評定点採点表

項目	細別	①主任監督員	②総括監督員	③検査員（中間）	④検査員（完成）	細目別評定点	得点割合
1. 施工体制	I. 施工体制一般	( ) ×0.4+2.9= 2.9 点				2.9 3.3 点	4.5%
	II. 配置技術者	( ) ×0.4+2.9= 2.9 点				2.9 4.1 点	4.5%
2. 施工状況	I. 施工管理	( ) ×0.4+2.9= 2.9 点		( ) ×0.4+6.5= 6.5 点	( ) ×0.4+6.5= 6.5 点	9.4 13.0 点	14.5%
	II. 工程管理	( ) ×0.4+2.9= 2.9 点	( ) ×0.2+3.2= 3.2 点			6.1 8.9 点	9.4%
	III. 安全対策	( ) ×0.4+2.9= 2.9 点	( ) ×0.2+3.3= 3.3 点			6.2 9.4 点	9.5%
	IV. 対外関係	( ) ×0.4+2.9= 2.9 点				2.9 3.7 点	4.5%
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	( ) ×0.4+2.8= 2.8 点		( ) ×0.4+6.5= 6.5 点	( ) ×0.4+6.5= 6.5 点	9.3 14.9 点	14.3%
	II. 品質	( ) ×0.4+2.9= 2.9 点		( ) ×0.4+6.5= 6.5 点	( ) ×0.4+6.5= 6.5 点	9.4 17.4 点	14.5%
	III. 出来ばえ			( ) ×0.4+6.5= 6.5 点	( ) ×0.4+6.5= 6.5 点	6.5 8.5 点	10.0%
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応		( ) ×0.2+3.3= 3.3 点			3.3 7.3 点	5.1%
5. 創意工夫	I. 創意工夫	( ) ×0.4+2.9= 2.9 点				2.9 5.7 点	4.5%
6. 社会性等	I. 地域への貢献等		( ) ×0.2+3.2= 3.2 点			3.2 3.8 点	4.9%
7. 法令遵守等			( ) ×1.0= 0 点			0.0	
評定点合計						65 100 点	
8. 総合評価	総合評価の技術資料記載事項に対する履行の確認		履行 不履行 対象外 ( 項目 )				

- ※ 中間検査があった場合 (①+②+③×0.25+④×0.75) =細目別評定点 (③は中間検査が2回以上の場合は平均値)  
中間検査がなかった場合 (①+②+④) =細目別評定点
- ※ 得点割合は、細目評定点の合計に対する得点の割合を百分率で示す。
- ※ 総合評価は、技術資料記載事項に対する履行が確認できない場合は、「不履行」を選択し、不履行の項目数を記載する。

## 土木工事成績評定表

施 工 年 度	令和	年度	工 事 番 号	第	号
工 事 名					
工 事 場 所					
受 注 者 名					
最終契約金額					
工 期	令和	年	月	日	～ 令和 年 月 日
完 成 年 月 日	令和	年	月	日	検 査 年 月 日 令和 年 月 日
現 場 代 理 人 氏 名					専任 補助者 <input type="checkbox"/>
監 理 ・ 主 任 技 術 者 氏 名					
監 理 技 術 者 補 佐 氏 名					
考 査 項 目	細 別		評 定 点 / 満 点 (修正された場合は修正前を ( ) 書き)		
1. 施 工 体 制	Ⅰ. 施工体制一般		／ 3.3 点		
	Ⅱ. 配置技術者		／ 4.1 点		
2. 施 工 状 況	Ⅰ. 施工管理		／ 13.0 点		
	Ⅱ. 工程管理		／ 8.9 点		
	Ⅲ. 安全対策		／ 9.4 点		
	Ⅳ. 対外関係		／ 3.7 点		
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅰ. 出来形		／ 14.9 点		
	Ⅱ. 品質		／ 17.4 点		
	Ⅲ. 出来ばえ		／ 8.5 点		
4. 工事特性 (加点のみ)	Ⅰ. 施工条件等への対応		／ 7.3 点		
5. 創意工夫 (加点のみ)	Ⅰ. 創意工夫		／ 5.7 点		
6. 社会性等 (加点のみ)	Ⅰ. 地域への貢献等		／ 3.8 点		
7. 法令遵守等 (減点のみ)			点		
評 定 点 合 計			／ 100 点		
8. 総合評価	総合評価の技術資料記載 事項に対する履行の確認		履 行 不 履 行 対 象 外 ( 項目 )		

- ※1 総合評価において、専任補助者を現場代理人として配置した場合は、現場代理人右欄の□にレ点をチェックすること。
- ※2 総合評価は、総合評価の技術資料記載事項に対する履行が確認できない場合は、「不履行」を選択し、不履行の項目数を記載する。

考査項目別運用表

(主 任 監 督 員)							
考 査 項 目	細 別	a	b	c	d	e	
1. 施工体制	I. 施工体制一般	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である	
		<div>●評価対象項目</div> <div>○ × 対象外</div> <div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>施工計画書を、工事着手前に提出している。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>作業分担の範囲を、施工体制台帳及び施工体系図に明確に記載している。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>元請けが下請の作業成果を検査している。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>施工計画書の内容と現場の施工方法が一致している。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対応が速やかである。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>現場に対する本店や支店による支援体制を整えている。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>工場製作期間における技術者を適切に配置している。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>機械設備、電気設備等について、製作工場における社内検査体制（規格値の設定や確認方法等）を整えている。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>その他</div><div>理由：</div></div></div>				<div><input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。</div>	<div><input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</div>
	II. 配置技術者 (現場代理人等)	a	b	c	d	e	
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である	
		<div>●評価対象項目</div> <div>○ × 対象外</div> <div>【全体を評価する項目】</div> <div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>「施工プロセス」のチェックリストのうち、配置技術者について指示事項が無い。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>作業に必要な作業主任者及び専門技術者を選任及び配置している。</div></div></div> <div>【現場代理人を評価する項目】</div> <div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>現場代理人が、工事全体を把握している。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>設計図書と現場との相違があった場合は、監督職員と協議するなどの必要な対応を行っている。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>監督職員への報告を適時及び的確に行っている。</div></div></div> <div>【監理（主任）技術者を評価する項目】</div> <div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>事前協議を踏まえ、書類を共通仕様書及び諸基準に基づき適切に作成し、整理している。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>契約書、設計図書、適用すべき諸基準等を理解し、施工に反映している。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>施工上の課題となる条件（作業環境、気象、地質等）への対応を図っている。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>監理（主任）技術者が、明確な根拠に基づいて技術的な判断を行っている。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>その他</div><div>理由：</div></div></div>				<div><input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。</div>	<div><input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</div>
		<div>●判断基準</div> <div>評価値が90%以上 . . . . . a</div> <div>評価値が80%以上90%未満 . . . . . b</div> <div>評価値が80%未満 . . . . . c</div>				<div>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</div> <div>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</div> <div>③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）</div>	

※ 「工事現場における施工体制確認要領」に基づく施工プロセスチェックリストを活用し、チェック結果を評定に反映させること。



考査項目別運用表

(主 任 監 督 員)							
考 査 項 目	細 別	a	b	c	d	e	
2. 施工状況	Ⅰ. 施工管理	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である	
		<div>●評価対象項目</div> <div>○ × 対象外</div> <div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工管理について指示事項が無い。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映したものとなっている。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>現場条件の変化に対して、適切に対応している。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>工事材料の品質に影響が無いよう保管している。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>日常の出来形管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>日常の品質管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>現場内の整理整頓を日常的に行っている。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>材料の品質証明書及び写真等を整理している。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>工事打合せ簿を、不足無く整理している。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>建設副産物の再利用等への取り組みを適切に行っている。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>工事全般において、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>施設台帳等を整理している。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>その他（理由：</div></div></div>				<div><input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。</div>	<div><input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</div>
	Ⅱ. 工程管理	a	b	c	d	e	
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である	
		<div>●評価対象項目</div> <div>○ × 対象外</div> <div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>「施工プロセス」のチェックリストのうち、工程管理について指示事項が無い。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した工程表を作成している。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>実施工程表の作成及びフォローアップを行っており、適切に工程を管理している。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>現場条件の変化への対応が迅速であり、施工の停滞が見られない。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>時間制限や片側交互通行等の各種制約への対応が適切であり、大きな工程の遅れが無い。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>工事の進捗を早めるための取り組みを行っている。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>適切な工程管理を行い、工程の遅れが無い。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>休日の確保を行っている。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>計画工程以外の時間外作業がほとんど無い。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>その他（理由：</div></div></div>				<div><input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。</div>	<div><input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</div>
		<div>●判断基準</div> <div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>評価値が90%以上・・・・・・・・・・a</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>評価値が80%以上90%未満・・・・・・b</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>評価値が80%未満・・・・・・・・・・c</div></div></div>				<div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>評価値（ %）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）</div></div></div>	

※ 「工事現場における施工体制確認要領」に基づく施工プロセスチェックリストを活用し、チェック結果を評定に反映させること。

考査項目別運用表

(主 任 監 督 員)						
考 査 項 目	細 別	a	b	c	d	e
	Ⅲ. 安全対策	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		<div>●評価対象項目</div> <div>○ × 対象外</div> <div><div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、安全対策について指示事項が無い。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 災害防止協議会等を1回／月以上行っている。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 安全教育及び安全訓練等を半日／月以上実施している。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 新規入場者教育の内容に、当該工事の現場特性を反映している。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事期間を通じて、労働災害及び公衆災害が発生しなかった。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 過積載防止に取り組んでいる。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 仮設工の点検及び管理を、チェックリスト等を用いて実施している。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 保安施設の設置及び管理を、各種基準及び関係者間の協議に基づき実施している。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（理由：<div></div>）</div></div></div> <div>●判断基準</div> <div><div>評価値が90%以上・・・a</div><div>評価値が80%以上90%未満・・・b</div><div>評価値が80%未満・・・c</div></div> <div><div>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</div><div>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</div><div>③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）</div></div>			<div><input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。</div>	<div><input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</div>
	Ⅳ. 対外関係	a	b	c	d	e
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		<div>●評価対象項目</div> <div>○ × 対象外</div> <div><div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、対外関係について指示事項が無い。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（理由：<div></div>）</div></div></div> <div>●判断基準</div> <div><div>評価値が90%以上・・・a</div><div>評価値が80%以上90%未満・・・b</div><div>評価値が80%未満・・・c</div></div> <div><div>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</div><div>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</div><div>③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）</div><div>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</div></div>			<div><input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。</div>	<div><input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</div>

※ 「工事現場における施工体制確認要領」に基づく施工プロセスチェックリストを活用し、チェック結果を評定に反映させること。

考査項目別運用表

(主 任 監 督 員)						
考 査 項 目	工 種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  I. 出来形	土 木 工 事	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね5 0 %以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね8 0 %以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、 a、 bに該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第1 7 条に基づき、監督職員が改造請求を行った
		※ ばらつきの判断は「工事成績評定におけるばらつき判断等の手引き（案）」参照。 <div><div>① 出来形の評定は、工事全般を通じて評定するものとする。 ② 出来形とは、設計図書に示された工事的物の形状及び寸法をいう。 ③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系であるが、当該管理基準によりがたい場合等については、監督職員と協議の上で出来形管理を行うものである。 ④ 出来形管理に係る打点数等を有する工事は、ばらつき判断を行う。 ⑤ 測定結果の打点数等が3 点以上 10 点未満の場合、「概ね 50%以内」を「50%以内」に、「概ね 80%以内」を「80%以内」に読み替える。</div></div>				
	機械設備工事	a	b	c	d	e
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第1 7 条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
		<div>●評価対象項目</div> <div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形を写真撮影している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の塗膜厚管理を適切にまとめている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の出来形管理を適切にまとめている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている予備品に不足が無い。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の劣化状況及び回復状況を図表等に記録している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（理由：）</div> <div>●判断基準</div> <div>評価値が90%以上・・・・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・・・・b 評価値が80%未満・・・・・・c</div> <div><div>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）</div></div>				

考査項目別運用表

(主 任 監 督 員)						
考 査 項 目	工 種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	電気設備工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	□ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	□ 契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
I. 出来形	通 信 設 備 工 事・受変電設備工事	●評価対象項目 ○ × 対象外 □ □ □ 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫している。 □ □ □ 機器等の測定（試験）結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理している。 □ □ □ 不可視部分の出来形を写真撮影している。 □ □ □ 設計図書に定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理している。 □ □ □ 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。 □ □ □ 設備の据付及び固定方法が設計図書又は承諾図書通り施工している。 □ □ □ 配管及び配線が、設計図書又は承諾図書通りに敷設している。 □ □ □ 測定機器のキャリブレーションを、定期的の実施している。 □ □ □ 行先などを表示した名札がケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。 □ □ □ 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ □ □ 社内の管理基準に基づき管理している。 □ □ □ その他 理由：  ●判断基準 評価値が90%以上・・・・・・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・・・・・・b 評価値が80%未満・・・・・・・・c				
<div>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値（      %）＝該当項目数（      ）／評価対象項目数（      ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</div>						

考査項目別運用表

(主 任 監 督 員)

考 査 項 目	工 種	a	b	c	d	e						
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	土 木 工 事	<input type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね5 0 %以内である。	<input type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね8 0 %以内である。	<input type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第1 7 条に基づき、監督職員が改造請求を行った。						
<div>           ※ ばらつきの判断は「工事成績評定におけるばらつき判断等の手引き（案）」参照。           <div>             ① 品質の評定は、工事全般を通じて評定するものとする。              ② 品質とは、設計図書に示された工事目的物の規格である。              ③ 品質管理とは、「土木工事施工管理基準」の試験項目、試験基準及び規格値に基づく全ての段階における品質確保のための管理体系である。なお、当該管理基準によりがたい場合等については、監督職員と協議の上で品質管理を行うものである。              ④ 試験結果の打点数等が10 点以上の場合、管理図・ヒストグラム等がなければ、ばらつき判断不可能とし「c」評価とする。              ⑤ 試験結果の打点数等が3 点以上10 点未満の場合、下表により評価する。              ⑥ 品質管理項目を設定していない工事は「c」評価とする           </div> </div>												
<div>           表：打点数等が3 点以上10 点未満の場合           <table> <tr> <th>a</th><th>b</th><th>c</th></tr> <tr> <td>評価値が90%以上</td><td>評価値が80%以上90%未満</td><td>評価値が80%未満</td></tr> </table> <div>             ●評価対象項目              ○ ×             <div>               【品質管理の計画】  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 当該工事に必要な「品質管理基準及び規格値」が施工計画書に記載されている。                【品質管理の実施】  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 「施工程序」のチェックリストのうち、品質管理について指示事項がない。  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使用材料の品質証明書に不足がない。  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質管理表に不足がない。  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質管理写真に不足がない。                【品質の良さ】（該当する全ての品質管理項目を該当項目とする）  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値を満足している。  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の8 0 %以内である。  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の5 0 %以内である。             </div> </div> <div>             ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。              ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。              ③ 評価値（        % ）＝該当項目数（        ）／評価対象項目数（        ）           </div> </div>							a	b	c	評価値が90%以上	評価値が80%以上90%未満	評価値が80%未満
a	b	c										
評価値が90%以上	評価値が80%以上90%未満	評価値が80%未満										

※ 「工事現場における施工体制確認要領」に基づく施工程序チェックリストを活用し、チェック結果を評定に反映させること。

考査項目別運用表

(主 任 監 督 員)						
考 査 項 目	工 種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	機械設備工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
Ⅱ. 品質		<div>●評価対象項目</div> <div><div><input type="checkbox"/> × 対象外</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の書類（現物照合）の内容が設計図書の仕様を満足している。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能を、承諾図書のとおり確保している。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出している。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられている。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の品質管理項目について規格値を満足している。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の品質管理項目について規格値を満足している。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯を承諾図書のとおり配置し、操作性にすぐれている。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 操作制御設備の安全装置及び保護装置が承諾図書のとおり機能している。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 小配管、電気配線・配管が、承諾図書のとおり敷設している。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の取扱説明書を工夫している。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 完成図書（取扱説明書）に定期的な点検及び交換を必要とする部品並びに箇所を明示している。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機器の配置が点検しやすいよう工夫している。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の構造や機器の配置が、部品等の交換作業を容易にできるよう工夫している。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 二次コンクリートの配合試験及び試験練りが実施され、試験成績表にまとめられている。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示している。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示している。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしている。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現地状況を勘案し施工方法等について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他</div><div>理由：</div></div> <div><div>●判断基準</div><div><div>評価値が90%以上・・・・・・・・a</div><div>評価値が80%以上90%未満・・・・b</div><div>評価値が80%未満・・・・・・・・c</div></div><div><div>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</div><div>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</div><div>③ 評価値（        % ）＝該当項目数（     ）／評価対象項目数（     ）</div><div>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</div></div></div>				

考査項目別運用表

(主 任 監 督 員)						
考 査 項 目	工 種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	電気設備工事 通信設備工事・ 受変電設備工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため監督職員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第 1 7 条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
		<div>●評価対象項目</div> <div>○ × 対象外</div> <div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施している。</div> <div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の結果が、品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足している。</div> <div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が、設計図書を満足し、成績書にまとめている。</div> <div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れている。</div> <div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無い。</div> <div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が設計図書の仕様を満足している。</div> <div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 操作制御関係の機能及び性能が、仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。</div> <div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足している。</div> <div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場条件によって機器（製品）の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認している。</div> <div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成（修繕（改造・更新含む）の場合は、修正又は更新）している。</div> <div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示している。</div> <div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫している。</div> <div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他</div> <div><div>理由：</div></div> <div>●判断基準</div> <div><div>評価値が90%以上・・・a</div><div>評価値が80%以上90%未満・・・b</div><div>評価値が80%未満・・・c</div></div> <div><div>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</div><div>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</div><div>③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）</div><div>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</div></div>				
	維持・修繕工事	a	b	c	d	e
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第 1 7 条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
		<div>●評価対象項目</div> <div>○ × 対象外</div> <div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 常に緊急的な作業に対応できる体制を整えている。</div> <div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 緊急的な作業に対し、迅速に対応している。</div> <div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対し、現地状況を勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。</div> <div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っている。</div> <div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 理由：</div> <div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 理由：</div> <div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 理由：</div> <div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 理由：</div> <div>●判断基準</div> <div><div>※該当項目が6項目以上・・・a</div><div>※該当項目が4項目以上・・・b</div><div>※該当項目が3項目以下・・・c</div></div> <div>注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。 ただし、評価対象項目は最大8項目とする。</div>				

考査項目別運用表

(主任監督員)

考査項目	細 別	工 夫 事 項	
5. 創意工夫	I. 創意工夫	<div> <div>【施工】</div> <div> <input type="checkbox"/> 施工に伴う器具、工具、装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫。                     <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品などの代替材の利用に関する工夫。                     <input type="checkbox"/> 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫。                     <input type="checkbox"/> 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する工夫。                     <input type="checkbox"/> 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫。                     <input type="checkbox"/> 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫。                     <input type="checkbox"/> 照明などの視界の確保に関する工夫。                     <input type="checkbox"/> 仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫。                     <input type="checkbox"/> 運搬車両、施工機械等に関する工夫。                     <input type="checkbox"/> 支保工、型枠工、足場工、仮栈橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫。                     <input type="checkbox"/> 盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫。                     <input type="checkbox"/> 施工計画書の作成、写真の管理等に関する工夫。                     <input type="checkbox"/> 出来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫。                     <input type="checkbox"/> 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫。                     <input type="checkbox"/> ICT 活用工事加点として起工測量から電子納品までの何れかの段階（①3次元起工測量、②3次元設計データ作成、③ICT 建設機械による施工、④3次元出来形管理資料等の作成、⑤出来形確認及び検査、⑥納品）で ICT を活用した工事（電子納品のみは除く） ※本項目は1点の加点とする。                     <input type="checkbox"/> 加点として起工測量から電子納品までの全ての段階で ICT を活用した工事。 ※本項目は2点の加点とする。 ※ICT 活用による加点は最大2点の加点とする。                     <input type="checkbox"/> 特殊な工法や材料を用いた工事。                     <input type="checkbox"/> 優れた技術力又は能力として評価する技術を用いた工事。                     <input type="checkbox"/> 県内産品使用促進の取組要領に準拠して県内産品を使用 ※本項目は2点の加点とする。                 </div> <div>【品質】</div> <div> <input type="checkbox"/> 土工、設備、電気の品質向上に関する工夫。                     <input type="checkbox"/> コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫。                     <input type="checkbox"/> 鉄筋、P Cケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫。                     <input type="checkbox"/> 配筋、溶接作業等に関する工夫。                 </div> <div>【安全衛生】</div> <div> <input type="checkbox"/> 建設業労働災害防止協会が定める指針に基づく安全衛生教育を実施している。 ※本項目は2点の加点とする。                     <input type="checkbox"/> 安全を確保するための仮設備等に関する工夫。（落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等）                     <input type="checkbox"/> 安全教育、技術向上講習会、安全パトロール等に関する工夫。                     <input type="checkbox"/> 現場事務所、労務者宿舍等の空間及び設備等に関する工夫。                     <input type="checkbox"/> 有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫。                     <input type="checkbox"/> 一般車両突入時の被害軽減方策又は一般交通の安全確保に関する工夫。                     <input type="checkbox"/> 厳しい作業環境の改善に関する工夫。                     <input type="checkbox"/> 環境保全に関する工夫。                 </div> </div> <div> <div>【働き方改革】</div> <div>                     「働き方改革」では、当該工事において、他の模範となるような取組を、以下の項目により評価する。                     <input type="checkbox"/> 若手や女性技術者の登用など、担い手確保に向けた取組が図られている。                 </div> <div>【その他】</div> <div> <input type="checkbox"/> その他                     <div>理由： </div> </div> <div> <input type="checkbox"/> その他                     <div>理由： </div> </div> <div> <input type="checkbox"/> その他                     <div>理由： </div> </div> <div> <input type="checkbox"/> その他                     <div>理由： </div> </div> <div> <input type="checkbox"/> その他                     <div>理由： </div> </div> <div> <input type="checkbox"/> その他                     <div>理由： </div> </div> </div>	

※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。

※2. 評価は各項目において1つレ点が付されれば1点または2点で評価し、最大7点の加点評価とする。

※3. 該当する数と重みを勘案して評定する。1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。

※4. 上記の考査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体的内容を記載して加点する。



考査項目別運用表

(総括監督員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	II. 工程管理	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
	<div> <div>●評価対象項目</div> <div>○ × 対象外</div> <div> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 隣接する他の工事などとの工程調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。                 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 地元及び関係機関との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。                 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工程管理を適切に行なったことにより、休日や夜間工事の回避等を行い、地域住民に公共工事に対する好印象を与えた。                 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。                 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場閉所による週休2日（4週8休以上）に取り組んだ。                 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 災害復旧工事など特に工期的な制約がある場合において、余裕をもって工事を完成させた。                 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事施工箇所が広範囲に点在している場合において、工程管理を的確に行い、余裕をもって工事を完成させた。                 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他                 <div>理由：</div> </div> </div> <div> <div>●判断基準</div> <div>                     評価値が90%以上 . . . . . a                     評価値が80%以上90%未満 . . . . b                     評価値が60%以上80%未満 . . . . c                     評価値が60%未満 . . . . . d                 </div> <div>                     ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                      ③ 評価値（      %）＝該当項目数（    ）／評価対象項目数（    ）                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。                 </div> </div>				<div> <input type="checkbox"/> 請負者の責により工期内に工事を完成させなかった。                      （但し、改善指示による場合を除く）                       上記該当あれば . . . . . e                 </div> <div> <input type="checkbox"/> 自主的な工程管理がなされず、監督職員から文書による改善指示を行った。                       上記該当あれば . . . . . d                 </div>	
	III. 安全対策	a	b	c	d	e
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
	<div> <div>●評価対象項目</div> <div>○ × 対象外</div> <div> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 建設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取り組みが顕著であった。                 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んだ。                 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んだ。                 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 安全対策に関する技術開発や創意工夫に取り組んだ。                 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 安全協議会での活動に積極的に取り組んだ。                 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 安全対策に係る取り組みが地域から評価された。                 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他                 <div>理由：</div> </div> </div> <div> <div>●判断基準</div> <div>                     評価値が90%以上 . . . . . a                     評価値が80%以上90%未満 . . . . b                     評価値が60%以上80%未満 . . . . c                     評価値が60%未満 . . . . . d                 </div> <div>                     ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                      ③ 評価値（      %）＝該当項目数（    ）／評価対象項目数（    ）                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。                 </div> </div>				<div> <input type="checkbox"/> 安全対策の不備により重大な災害等を受けた。                       上記該当あれば . . . . . e                 </div> <div> <input type="checkbox"/> 安全管理に関する現場管理または防災体制が不適切であった。                       上記該当あれば . . . . . d                 </div>	

考査項目別運用表

(総括監督員)

考査項目	細別	対応事項	【事例】具体的な施工条件等への対応事例
4. 工事特性	Ⅰ. 施工条件等への対応	Ⅰ 構造物の特殊性への対応 <div> <input type="checkbox"/> 1. 対象構造物の高さ、延長、施工（断）面積、施工深度等の規模が特殊な工事                     </div> <div> <input type="checkbox"/> 2. 対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事                     </div> <div> <input type="checkbox"/> 3. その他                     <div>理由：</div> </div> <div>※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば4点の加点とする。</div>	(1. について) 切土の土工量：20万m <sup>3</sup> 以上、盛土の土工量：15万m <sup>3</sup> 以上、護岸・築堤の平均高さ：10m以上、トンネル(ｼｰﾙﾄﾞ)の直径：8m以上、ダム用水門の設計水深：25m以上、樋門又は樋管の内空断面積：15m <sup>2</sup> 以上、揚排水機場の吐出管径：2,000mm以上、堰又は水門の最大径間長：25m以上、堰又は水門の径間数：3径間以上、堰又は水門の扉体面積：50m <sup>2</sup> /門以上、トンネル(開削工法)の開削深さ：20m以上、トンネル(NATM)の内空平均面積：100m <sup>2</sup> 以上、トンネル(沈埋工法)の内空平均面積：300m <sup>2</sup> 以上、海岸堤防、護岸、突堤又は離岸堤の水深：10m以上、地滑り防止工：幅100m以上かつ法長150m以上、浚渫工の浚渫土量：100万m <sup>3</sup> 以上、流路工の計画高水流量：500m <sup>3</sup> 以上、砂防ダムの堤高：15m以上、ダムの堤高：150m以上、転流トンネルの流下能力：400m <sup>3</sup> /s以上、橋梁下部工の高さ：30m以上、橋梁上部工の最大支間長：100m以上 (2. について) ・砂防工事などにおいて、現地合わせに基づいて再設計が必要な工事。 ・鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事又は河道内の流水部における橋脚の撤去工事。 ・供用中の道路トンネルの拡幅工事。 (3. について) ・その他、構造物固有の難しさへの対応が特に必要な工事 ・その他、技術固有の難しさへの対応が必要である工事。 ・地山強度が低い又は土被りが薄いため、FEM解析などによる検討が必要な工事。
		Ⅱ 都市部等の作業環境、社会条件等への対応 <div> <input type="checkbox"/> 4. 地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事                     </div> <div> <input type="checkbox"/> 5. 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事                     </div> <div> <input type="checkbox"/> 6. 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事                     </div> <div> <input type="checkbox"/> 7. 現道上での交通規制に大きく影響する工事                     </div> <div> <input type="checkbox"/> 8. 緊急時に対応が特に必要な工事                     </div> <div> <input type="checkbox"/> 9. 施工箇所が広範囲にわたる工事                     </div> <div> <input type="checkbox"/> 10. その他                     <div>理由：</div> </div> <div>※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば6点の加点とする。</div>	(4. について) ・供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事。 ・市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。 ・監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。 (5. について) ・ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事。 ・地元調整や環境対策などの制約が特に多い工事。 ・そのほか各種制約があり、施工に特に厳しい制限を受けた工事。 (6. について) ・市街地での夜間工事。 ・DID地区での工事。 (7. について) ・日交通量が概ね1万台以上の道路で片側交互通行の交通規制をした工事。 ・供用している自動車専用道路等の路上工事で、交通規制が必要な工事。 ・工事期間中の大半にわたって、交通開放を行うため規制標識の設置撤去を日々行った工事。 (8. について) ・緊急時の作業があり、その作業の全てに対応した工事。 (9. について) ・作業現場が広範囲に分布している工事。 (10. について) ・施工ヤードの広さや高さに制限があり、機械の使用など施工に制約を受けた工事。 ・その他、周辺環境又は社会条件への対応が特に必要な工事。
		Ⅲ 厳しい自然・地盤条件への対応 <div> <input type="checkbox"/> 11. 特殊な地盤条件への対応が必要な工事                     </div> <div> <input type="checkbox"/> 12. 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事                     </div> <div> <input type="checkbox"/> 13. 急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事                     </div> <div> <input type="checkbox"/> 14. 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事                     </div> <div> <input type="checkbox"/> 15. その他                     <div>理由：</div> </div> <div>※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば4点の加点とする。</div>	(11. について) ・河川内の橋脚工事において地下水位が高く、ウェルポイント工法などによる排水や大規模な山留めなどが必要な工事。 ・支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎毎に地質調査を実施するなど支持地盤を確認しながら再設計した工事。 ・施工不可能日が多いことから、施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要が生じた工事。 (12. について) ・海岸又は河川区域内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。 ・潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業構台等を設置した工事。 (13. について) ・急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。もしくは、命綱を使用する必要があった工事（法面工は除く）。 ・斜面上又は急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。 ・土石流危険渓流に指定された区域内における工事 (14. について) ・イヌワシ等の猛禽類などの貴重な動植物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事 (15. について) ・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。 ・その他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事
		Ⅳ 長期工事における安全確保への対応 <div> <input type="checkbox"/> 16. 12ヶ月を超える工期で、事故がなく完成した工事（全面一時中止期間は除く）                          ※但し、文書注意に至らない事故は除く。                     </div> <div> <input type="checkbox"/> 17. その他                     <div>理由：</div> </div> <div>※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば6点の加点とする。</div>	
	評価	評点：_____点	

※1. 工事特性は、最大20点の加点点評価とする。

※2. 評価にあたっては、主任監督員の意見も参考に評価する。

考査項目別運用表

(総括監督員)

考査項目	細別	貢 献 事 項
6. 社会性等	I. 地域への貢献等	<div> <input type="checkbox"/> 周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。         </div> <div> <input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせるなど、積極的に周辺地域との調和を図った。         </div> <div> <input type="checkbox"/> 定期的に広報紙の配布や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。         </div> <div> <input type="checkbox"/> 県内産品使用促進の取組要領に準拠して県内産品を使用。         </div> <div> <input type="checkbox"/> 道路清掃などを積極的に実施し、地域に貢献した。         </div> <div> <input type="checkbox"/> 地域が主催するイベントへ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。         </div> <div> <input type="checkbox"/> 災害時などにおいて、地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。         </div> <div> <input type="checkbox"/> その他           <div> 理由： </div> </div> <div> <input type="checkbox"/> その他           <div> 理由： </div> </div> <div> <input type="checkbox"/> その他           <div> 理由： </div> </div> <div> <div>※1. 特に評価すべき地域貢献事例を評価する。</div> <div>※2. 評価は各項目において1つレ点が付されれば1点で評価し、最大3点の加点評価とする。</div> <div>※3. 上記項目の他に評価に値する地域貢献等があれば、その他に具体的内容を記載して加点する。</div> </div>
	評 価	評 点：_____点

考査項目別運用表

(総括監督員)

考 査 項 目	法 令 遵 守 等 の 該 当 項 目 一 覧 表	
7. 法令遵守等		
<div>① 本考査項目（7. 法令遵守等）で評価する事例は、施工にあたって工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった場合に適用する。</div> <div>② 「施工」とは、請負契約書の記載内容（工事名、工期、施工場所等）を履行することに限定する。</div> <div>③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、請負会社の現場従事職員及び当該工事にあたって下請負人として契約し、それを履行するために当該工事現場に従事する者に限定する。</div> <div>④ 総合評価落札方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、8. その他の項目で減ずる措置を行う。</div>		
<div>【上記で評価する場合の適応事例】</div> <div>1. 入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。</div> <div>2. 承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。</div> <div>3. 使用人に関する労働条件に問題があり送検された。</div> <div>4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。</div> <div>5. 当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。</div> <div>6. 一括下請や技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。</div> <div>7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。</div> <div>8. 労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。</div> <div>9. 監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。</div> <div>10. 下請代金を期日以内に支払っていない、不当に下請代金の額を減じているなど下請代金支払遅延等防止法第4条に規定する親事業者の遵守事項に違反する行為がある。</div> <div>11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕又は送検された。</div> <div>12. 受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織（団体）」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等の暴力団関係者がいることが判明した。</div> <div>13. 下請に暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」第9条に記されている砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。</div> <div>14. 安全管理が不適切であったことから死傷者を生じさせた工事関係者事故又は重大な損害を与えた公衆損害事故を起こした。</div> <div>15. 工事関係車両、建設機械等で不正軽油を使用したことが判明し、地方税法違反で処分された。</div> <div>16. 「県契約における適正な労働条件の確保に関する要綱」に関して、労働基準監督署から行政指導を受けた。あるいは送検された。</div> <div>17. 社会保険等未加入建設業者を下請負人（二次以下の下請負人を含む）とした。</div> <div>18. 発注者指定型の ICT 活用工事において、承諾なしに ICT 活用工事を実施しなかった。</div>		

考査項目別運用表

(検 査 員)						
考 査 項 目	細 別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	I. 施工管理	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
		<div>●評価対象項目</div> <div>○ × 対象外</div> <div><div><div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 契約書第 18 条第 1 項第 1 号～5 号に基づく設計図書の照査を行っていることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっていることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場条件又は計画内容に重要な変更が生じた場合（数量等の軽微な変更は除く）は、その都度当該工事着手前に変更施工計画書を提出していることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響が無いよう工事材料を保管していることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 立会確認の手続きを事前に行っていることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で適確に整備していることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場代理人・監理（主任）技術者が施工計画や工事工程を把握し、出来形・品質管理等の施工管理、資料作成・整理に主体的に関わっていることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 過積載防止の取り組みを行っていることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 建設業退職金共済証紙が適切に配布され管理されていることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事の関係書類を事前協議に基づき過不足なく作成していることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施設台帳等を整理していることが確認できる。</div><div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（理由：<div></div>）</div></div></div></div> <div>●判断基準</div> <div><div>評価値が90%以上・・・・・・・・・・a</div><div>評価値が80%以上90%未満・・・・・・・b</div><div>評価値が80%未満・・・・・・・・・・・c</div></div> <div><div>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</div><div>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</div><div>③ 評価値（        % ）＝該当項目数（     ）／評価対象項目数（     ）</div></div>			<div><input type="checkbox"/> 施工管理について、監督職員が文書による改善指示を行った。</div>	<div><input type="checkbox"/> 施工管理について、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</div>

考査項目別運用表

(検 査 員)										
考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e		
3. 出来形及び出来ばえ  I. 出来形	土 木 工 事	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評価対象項目」の4項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評価対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評価対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評価対象項目」の2項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a～b' に該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。		
		●評価対象項目 ○ × 対象外 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 出来形管理が、出来形管理図及び出来形管理表により確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真（監督職員等が臨場した箇所は除く）で確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 出来形管理基準が定められていない工種について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 <div>理由：</div>							<div>                         ① 出来形は、工事全般を通じて評定するものとする。                          ② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。                          ③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系である。                          ④ 出来形管理に係る打点数等を有する工事は、ばらつき判断を行う。                          ⑤ 測定結果の打点数等が3点以上 10点未満の場合、「概ね 50%以内」を「50%以内」に、「概ね 80%以内」を「80%以内」に読み替える。                     </div>	
	機械設備工事	a	a'	b	b'	c	d	e		
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている		
		●評価対象項目 ○ × 対象外 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が、出来形管理図及び出来形管理表により確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内であり、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真（監督職員等が臨場した箇所は除く）で確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の塗膜厚管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の出来形管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている予備品に不足が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の老化状況及び回復状況が図表等に記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 <div>理由：</div>						<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		●判断基準 評価値が90%以上・・・・・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・・・・・ a' 評価値が70%以上80%未満・・・・・・・・ b 評価値が60%以上70%未満・・・・・・・・ b' 評価値が60%未満・・・・・・・・・・ c						<div>                         ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。                          ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                          ③ 評価値（        %）＝該当項目数（    ）／評価対象項目数（    ）                     </div>		

考査項目別運用表

(検 査 員)									
考 査 項 目	工 種	a	a’	b	b’	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	電気設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている	
I. 出来形	通信設備工事・ 受変電設備工事	<div>●評価対象項目</div> <div>○ × 対象外</div> <div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>据付に関する出来形管理が、出来形管理図及び出来形管理表により確認できる。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>機器等の測定（試験）結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理していることが確認できる。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div></div></div><div>写真管理基準の管理項目を満足している。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>不可視部分の出来形が写真（監督職員等が臨場した箇所は除く）で確認できる。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>設備全般にわたり、形状、寸法の実測値が許容範囲内であることが確認できる。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>設備の据付、固定方法が、設計図書又は承諾図書のとおりに施工していることが確認できる。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>配管及び配線が設計図書又は承諾図書通り敷設していることが確認できる。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>行先などを表示した名札が、ケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div></div></div><div>社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</div></div><div><div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div><div><input type="checkbox"/></div></div><div>その他</div></div><div><div>理由：</div></div></div>					<div><input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</div>	<div><input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</div>	
		<div>●判断基準</div> <div>評価値が90%以上・・・・・・・・・・ a</div> <div>評価値が80%以上90%未満・・・・・・・・ a’</div> <div>評価値が70%以上80%未満・・・・・・・・ b</div> <div>評価値が60%以上70%未満・・・・・・・・ b’</div> <div>評価値が60%未満・・・・・・・・・・ c</div>					<div><div><div>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</div><div>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</div><div>③ 評価値（      %）＝該当項目数（    ）／評価対象項目数（    ）</div><div>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</div></div></div>		





考査項目別運用表

							(検 査 員)	
考 査 項 目	工 種	a	a’	b	b’	c	d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ  								

●判断基準

1）試験結果の打点数等が 10 点以上の場合

		ばらつきの判断可能			ばらつきの判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

2）試験結果の打点数等が 3 点以上 10 点未満の場合

品質の良さの該当項目数と評価対象項目の履行状況から判断する。

【品質の良さ】（該当する全ての品質管理項目を該当項目とする。）

☐ 主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値を満足している。

☐ 主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の 8 0 %以内である。

☐ 主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の 5 0 %以内である。

		品質の良さの該当項目数			測定値が無い
		3項目該当	2項目該当	1項目該当	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。

② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③ 評価値（        %）＝該当項目数（     ）／評価対象項目数（     ）

④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。





## 考查項目別運用表

(検 査 員)

[illegible]

考査項目別運用表

		(検 査 員)																																																																							
考 査 項 目	工 種	a	a’	b	b’	c	d	e																																																																	
3. 出来形 及び 出来ばえ	□ 鋼橋工事 (ＲＣ床版工事はコンクリート 構造物に準ずる)	□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は「工事成績評定におけるばらつき判断等の手引き(案)」参照。					□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																																																																	
		●評価対象項目 ○ × 対象外 【工場製作関係】 □ □ □ 鋼材の種別を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。 □ □ □ 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 □ □ □ 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ □ □ 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 □ □ □ 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。 □ □ □ 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。 □ □ □ 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 □ □ □ 素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 □ □ □ 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 □ □ □ 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 □ □ □ その他( ) ) □ □ □ その他( ) )  【架設関係】 □ □ □ ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 □ □ □ ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 □ □ □ 高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。 □ □ □ 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。 □ □ □ 支承の据付で、コンクリート面のチッピング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。 □ □ □ 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。 □ □ □ 架設に用いる仮設備及び架設用機材について品質、性能が確保できる規模及び強度を有して確認していることが確認できる。 □ □ □ 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。 □ □ □ 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる。 □ □ □ その他( ) ) □ □ □ その他( ) )  ●判断基準 1) 試験結果の打点数等が10点以上の場合																																																																							
Ⅱ. 品質		2) 試験結果の打点数等が3点以上10点未満の場合 品質の良さの該当項目数と評価対象項目の履行状況から判断する。  【品質の良さ】（該当する全ての品質管理項目を該当項目とする） □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値を満足している。 □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の80％以内である。 □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の50％以内である。					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除の項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																																																		
		<table><tr><th colspan="2"></th><th colspan="3">ばらつきの判断可能</th><th rowspan="2">ばらつきの 判断不可能</th></tr><tr><th colspan="2"></th><th>50%以下</th><th>80%以下</th><th>80%を超える</th></tr><tr><td rowspan="4">評 価 値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a’</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a’</td><td>b</td><td>b’</td><td>b’</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b’</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b’</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table>							ばらつきの判断可能			ばらつきの 判断不可能			50%以下	80%以下	80%を超える	評 価 値	90%以上	a	a’	b	b	75%以上90%未満	a’	b	b’	b’	60%以上75%未満	b	b’	c	c	60%未満	b’	c	c	c	<table><tr><th colspan="2"></th><th colspan="3">品質の良さの該当項目数</th><th rowspan="2">測定値が無い</th></tr><tr><th colspan="2"></th><th>3項目該当</th><th>2項目該当</th><th>1項目該当</th></tr><tr><td rowspan="4">評 価 値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a’</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a’</td><td>b</td><td>b’</td><td>b’</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b’</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b’</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table>				品質の良さの該当項目数			測定値が無い			3項目該当	2項目該当	1項目該当	評 価 値	90%以上	a	a’	b	b	75%以上90%未満	a’	b	b’	b’	60%以上75%未満	b	b’	c	c	60%未満	b’	c	c	c	
		ばらつきの判断可能			ばらつきの 判断不可能																																																																				
		50%以下	80%以下	80%を超える																																																																					
評 価 値	90%以上	a	a’	b	b																																																																				
	75%以上90%未満	a’	b	b’	b’																																																																				
	60%以上75%未満	b	b’	c	c																																																																				
	60%未満	b’	c	c	c																																																																				
		品質の良さの該当項目数			測定値が無い																																																																				
		3項目該当	2項目該当	1項目該当																																																																					
評 価 値	90%以上	a	a’	b	b																																																																				
	75%以上90%未満	a’	b	b’	b’																																																																				
	60%以上75%未満	b	b’	c	c																																																																				
	60%未満	b’	c	c	c																																																																				



考査項目別運用表

考 査 項 目		工 種	a	a´	b	b´	c	d	e																														
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	□ 地すべり防止工事 (集水井工事を含む)	□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は「工事成績評定におけるばらつき判断等の手引き(案)」参照。					□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																														
			●評価対象項目 ○ × 対象外 【共 通】 □ □ □ コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w／c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 □ □ □ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 □ □ □ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 □ □ □ 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） □ □ □ コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っている。 □ □ □ 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。 □ □ □ 鉄筋及び鋼材の品質が、証明書類で確認できる。 □ □ □ 有害なクラックが無い。 □ □ □ その他（ <div></div> ） □ □ □ その他（ <div></div> ）  【地すべり対策工事(抑止杭・集水井戸を含む)】 □ □ □ アンカーの施工が、設計図書の仕様を無満足していることが確認できる。 □ □ □ ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮していることが確認できる。 □ □ □ ライナープレートの地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。 □ □ □ 集・排水ボーリングの方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。 □ □ □ その他（ <div></div> ） □ □ □ その他（ <div></div> ）																																				
								<div>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値（        % ）＝該当項目数（     ）／評価対象項目数（     ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</div>																															
								●判断基準 1）試験結果の打点数等が10点以上の場合 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">ばらつきの判断可能</th><th rowspan="2">ばらつきの判断不可能</th></tr><tr><th>50%以下</th><th>80%以下</th><th>80%を超える</th></tr><tr><td rowspan="4">評価値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a´</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a´</td><td>b</td><td>b´</td><td>b´</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b´</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b´</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table>  2）試験結果の打点数等が3点以上10点未満の場合 品質の良さの該当項目数と評価対象項目の履行状況から判断する。  <				ばらつきの判断可能			ばらつきの判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a´	b	b	75%以上90%未満	a´	b	b´	b´	60%以上75%未満	b	b´	c	c	60%未満	b´	c	c	c
		ばらつきの判断可能			ばらつきの判断不可能																																		
		50%以下	80%以下	80%を超える																																			
評価値	90%以上	a	a´	b	b																																		
	75%以上90%未満	a´	b	b´	b´																																		
	60%以上75%未満	b	b´	c	c																																		
	60%未満	b´	c	c	c																																		





考査項目別運用表

考 査 項 目		工 種	a	a’	b	b’	c	d	e				
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 法面工事	□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は「工事成績評定におけるばらつき判断等の手引き(案)」参照。					□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。				
			●評価対象項目 ○ × 対象外 【共通】 □ □ □ 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。（特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係） □ □ □ 施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。 □ □ □ 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行っていることが確認できる。 □ □ □ 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 □ □ □ その他（										
			【種子吹付工、客土吹付工、植生基材吹付工関係】 □ □ □ 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 □ □ □ ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 □ □ □ ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。 □ □ □ 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 □ □ □ 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ □ □ 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 □ □ □ その他（										
			【コンクリート又はモルタル吹付工関係】 □ □ □ 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ □ □ 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。 □ □ □ 金網が破損を生じていないことが確認できる。 □ □ □ 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。 □ □ □ 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 □ □ □ 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。 □ □ □ 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 □ □ □ 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 □ □ □ 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。 □ □ □ その他（										
			【現場打法枠工関係（プレキャスト法枠工含む）】 □ □ □ 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ □ □ アンカーピンを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。 □ □ □ 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。 □ □ □ 強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 □ □ □ 枠内に空隙が無いことが確認できる。 □ □ □ 層間にはく離が無いことが確認できる。 □ □ □ 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 □ □ □ その他（										
			【アンカー工関係（鉄筋挿入工含む）】 □ □ □ アンカーの施工長さが確認できる。 □ □ □ アンカーの角度が測定されており、規格値内であることが確認できる。 □ □ □ アンカープレートと法面、法枠等との空隙がないようモルタル等で充填されている。 □ □ □ アンカーの緊張・定着の確認試験等必要な試験が適正に行われている。 □ □ □ その他（										

① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。  
② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
③ 評価値（        %）＝該当項目数（     ）／評価対象項目数（     ）  
④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

●判断基準						
1）試験結果の打点数等が10点以上の場合						
評価値		ばらつきの判断可能			ばらつきの判断不可能	
		50%以下	80%以下	80%を超える		
		90%以上	a	a’	b	b
		75%以上90%未満	a’	b	b’	b’
		60%以上75%未満	b	b’	c	c
		60%未満	b’	c	c	c
2）試験結果の打点数等が3点以上10点未満の場合						
品質の良さの該当項目数と評価対象項目の履行状況から判断する。						
【品質の良さ】（該当する全ての品質管理項目を該当項目とする） □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値を満足している。 □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の80%以内である。 □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の50%以内である。						
評価値		品質の良さの該当項目数			測定値が無い	
		3項目該当	2項目該当	1項目該当		
		90%以上	a	a’	b	b
		75%以上90%未満	a’	b	b’	b’
		60%以上75%未満	b	b’	c	c
		60%未満	b’	c	c	c

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。  
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 ③ 評価値（        %）＝該当項目数（     ）／評価対象項目数（     ）  
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

●判断基準

1）試験結果の打点数等が10点以上の場合

		ばらつきの判断可能			ばらつきの判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

2）試験結果の打点数等が3点以上10点未満の場合

品質の良さの該当項目数と評価対象項目の履行状況から判断する。

【品質の良さ】（該当する全ての品質管理項目を該当項目とする）  
☐主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値を満足している。  
☐主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の80%以内である。  
☐主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の50%以内である。

		品質の良さの該当項目数			測定値が無い
		3項目該当	2項目該当	1項目該当	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c



考査項目別運用表

		(検 査 員)						
考 査 項 目	工 種	a	a’	b	b’	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	□ コンクリート橋上部工事 ( P C 及び R C を対象)	□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は「工事成績評定におけるばらつき判断等の手引き(案)」参照。					□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		●評価対象項目 ○ × 対象外 □ □ □ コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w／c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。  □ □ □ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 □ □ □ 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 □ □ □ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）  □ □ □ コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 □ □ □ 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 □ □ □ 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ □ □ コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 □ □ □ 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 □ □ □ 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ □ □ コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ □ □ スペーサの品質及び個数が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 □ □ □ プレブーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ □ □ 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。 □ □ □ P C 鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ □ □ プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ □ □ コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。 □ □ □ 有害なクラックが無い。 □ □ □ その他（ ） □ □ □ その他（ ）						
Ⅱ. 品質		<div>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ）％＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</div>						

●判断基準

1）試験結果の打点数等が10点以上の場合

		ばらつきの判断可能			ばらつきの判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a’	b	b
	75%以上90%未満	a’	b	b’	b’
	60%以上75%未満	b	b’	c	c
	60%未満	b’	c	c	c

2）試験結果の打点数等が3点以上10点未満の場合

品質の良さの該当項目数と評価対象項目の履行状況から判断する。

【品質の良さ】（該当する全ての品質管理項目を該当項目とする）  
□主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値を満足している。  
□主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の80％以内である。  
□主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の50％以内である。

		品質の良さの該当項目数			測定値が無い
		3項目該当	2項目該当	1項目該当	
評価値	90%以上	a	a’	b	b
	75%以上90%未満	a’	b	b’	b’
	60%以上75%未満	b	b’	c	c
	60%未満	b’	c	c	c

●判断基準

1) 試験結果の打点数等が 10 点以上の場合
 

		ばらつきの判断可能			ばらつきの判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

2) 試験結果の打点数等が 3 点以上 10 点未満の場合  
 品質の良さの該当項目数と評価対象項目の履行状況から判断する。

【品質の良さ】(該当する全ての品質管理項目を該当項目とする)

□主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値を満足している。  
 □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の80%以内である。  
 □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の50%以内である。

		品質の良さの該当項目数			測定値が無い
		3項目該当	2項目該当	1項目該当	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c









考査項目別運用表

考 査 項 目		工 種	a		a ’		b		b ’		c		d		e	
3. 出来形及び出来ばえ  																



考査項目別運用表

考 査 項 目		工 種		a		a’		b		b’		c		d		e	
3. 出来形及び出来ばえ  <																	

## 考查項目別運用表

(検 査 員)

考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  <								

考査項目別運用表

(検 査 員)								
考 査 項 目	工 種	a	a’	b	b’	c	d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ   								

## 考查項目別運用表

(検 査 員)

考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	□ 港湾・海岸工事（浚渫工）	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
II. 品質		<p>●評価対象項目</p> <p>○ × 対象外</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 気象・海象を調査し、潮位、潮流、波浪等の状況を十分把握して施工されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 台風などの異常気象に備えて、施工前に避難場所の確保及び退避設備の対策を講じていることが確認できる</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 仕様書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 作業現場の土質条件、海象条件、周辺海域の利用状況等を考慮して、効率的な作業が可能な作業船を選定していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 土砂処分における運搬途中で漏出がないように施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他（ ）</p>						
		<p>●判断基準</p> <p>※ 該当項目が90%以上・・・・・・ a</p> <p>※ 該当項目が80%以上90%未満・・・・ a'</p> <p>※ 該当項目が70%以上80%未満・・・・ b</p> <p>※ 該当項目が60%以上70%未満・・・・ b'</p> <p>※ 該当項目が60%未満・・・・・・ c</p>					<div> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（      %）＝該当項目数（    ）／評価対象項目数（    ）</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>	

考査項目別運用表

考 査 項 目		工 種		a	a'	b	b'	c	d	e																															
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	□ 港湾・海岸工事 (地盤改良工)	□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は「工事成績評定におけるばらつき判断等の手引き(案)」参照。						□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																															
			●評価対象項目 ○ × 対象外 【共通】 □ □ □ 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 □ □ □ 既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 □ □ □ 気象・海象を調査し、潮位、潮流、波浪等の状況を十分把握して施工されていることが確認できる。 □ □ □ 台風などの異常気象に備えて、施工前に避難場所の確保及び退避設備の対策を講じていることが確認できる。 □ □ □ 仕様書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。 □ □ □ その他（ ）  【床堀工】 □ □ □ 作業現場の土質条件、海象条件、周辺海域の利用状況等を考慮して、効率的な作業が可能な作業船を選定していることが確認できる。 □ □ □ 土砂処分における運搬途中で漏出がないように施工していることが確認できる。 □ □ □ 底面、法面の施工で出来形の許容範囲を超えた場合、置換材と同等以上の材料で埋戻しを行っていることが確認できる。 □ □ □ その他（ ） □ □ □ その他（ ）  【圧密・排水工、締固工、固化工】 □ □ □ 改良材料の品質管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 □ □ □ 浮泥を巻き込まないよう置換材を投入していることが確認できる。 □ □ □ サンドレーン、砕石レーン、サンドコンパクションパイル及びロッドコンパクションが連続した様な形状・品質に施工されていることが打込記録等により確認できる。 □ □ □ ペーパーレーンが計画深度まで破損なく正常に形成されていることが打込記録等により確認できるとともに、打設を完了したペーパーレーンの頭部が保護され、排水機能が維持されていることが確認できる。 □ □ □ 深層混合処理の打込記録等から、仕様書に定められている事項が確認できる。 □ □ □ 前記以外の改良工法について、記録から仕様書に定められている事項が確認できる。 □ □ □ 盛上り土の状況確認及び管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 □ □ □ その他（ ） □ □ □ その他（ ）																																						
				●判断基準 1) 試験結果の打点数等が 10 点以上の場合						① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値（        %）＝該当項目数（        ）／評価対象項目数（        ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が 2 項目以下の場合は c 評価とする。																															
				2) 試験結果の打点数等が 3 点以上 10 点未満の場合 品質の良さの該当項目数と評価対象項目の履行状況から判断する。																																					
				【品質の良さ】（該当する全ての品質管理項目を該当項目とする） □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値を満足している。 □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の 8 0 %以内である。 □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の 5 0 %以内である。																																					
				<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">品質の良さの該当項目数</th><th rowspan="2">測定値が無い</th></tr><tr><th>3項目該当</th><th>2項目該当</th><th>1項目該当</th></tr><tr><td rowspan="4">評価値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>b'</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table>								品質の良さの該当項目数			測定値が無い	3項目該当	2項目該当	1項目該当	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
		品質の良さの該当項目数			測定値が無い																																				
		3項目該当	2項目該当	1項目該当																																					
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																				
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																				
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																				
	60%未満	b'	c	c	c																																				

## 考查項目別運用表

(検 査 員)

考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ   <								

## 考查項目別運用表

(検 査 員)

考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ   								

考査項目別運用表

考 査 項 目		工 種	a	a’	b	b’	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	□ 港湾・海岸工事（本体工（ケーソン式、ブロック式、場所打ち式関係））	□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は「工事成績評定におけるばらつき判断等の手引き(案)」参照。					□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
			●評価対象項目 ○ × 対象外 【共通】 □ □ □ 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 □ □ □ 既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 □ □ □ 気象・海象を調査し、潮位、潮流、波浪等の状況を十分把握して施工されていることが確認できる。 □ □ □ 台風などの異常気象に備えて、施工前に避難場所の確保及び退避設備の対策を講じていることが確認できる □ □ □ 仕様書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。 □ □ □ その他（ ）						
			【コンクリート関係】 □ □ □ コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w／c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。  □ □ □ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 □ □ □ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 □ □ □ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）  □ □ □ コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 □ □ □ コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 □ □ □ 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 □ □ □ コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 □ □ □ 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ □ □ 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 □ □ □ コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ □ □ スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ □ □ 有害なクラックが無い。 □ □ □ その他（ ）						
			【本体：ケーソン据付、ブロック据付関係】 □ □ □ ケーソン・ブロック仮置に先立ち仮置場を調査し、仮置作業が所定の位置に異常なく行われていることが確認できる。 □ □ □ ケーソン・ブロック据付に先立ち、気象・海象等を十分調査し、据付作業が所定の精度で行われていることが確認できる。 □ □ □ ケーソン・ブロック据付等及び中詰においてケーソン・ブロック及び既設構造物等の破損がなく施工されていることが確認できる。 □ □ □ その他（ ） □ □ □ その他（ ）						

① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。  
② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
③ 評価値（        %）＝該当項目数（     ）／評価対象項目数（     ）  
④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は○評価とする。

●判断基準  
1）試験結果の打点数等が10点以上の場合  

		ばらつきの判断可能			ばらつきの判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a’	b	b
	75%以上90%未満	a’	b	b’	b’
	60%以上75%未満	b	b’	c	c
	60%未満	b’	c	c	c

  
2）試験結果の打点数等が3点以上10点未満の場合  
品質の良さの該当項目数と評価対象項目の履行状況から判断する。  
  
【品質の良さ】（該当する全ての品質管理項目を該当項目とする）  
□主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値を満足している。  
□主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の80%以内である。  
□主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の50%以内である。  

		品質の良さの該当項目数			測定値が無い
		3項目該当	2項目該当	1項目該当	
評価値	90%以上	a	a’	b	b
	75%以上90%未満	a’	b	b’	b’
	60%以上75%未満	b	b’	c	c
	60%未満	b’	c	c	c







考査項目別運用表

		(検 査 員)																																																																		
考 査 項 目	工 種	a	a’	b	b’	c	d	e																																																												
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	□ 公園施設整備工事 (園路広場整備、修景施設整備、遊戯施設整備)	<div>□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は「工事成績評定におけるばらつき判断等の手引き(案)」参照。</div>					<div>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</div>	<div>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</div>																																																												
		<div>●評価対象項目 ○ × 対象外 □ □ □ 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 □ □ □ 材料、部材の品質及び形状が設計図書に適合しており、証明書が整備されている。 □ □ □ 遊戯施設等の機能と安全性が設計図書に適合しており、証明書が整備されている。 □ □ □ 園路等の路盤工に関し、現場密度試験が適切に行われ、管理されている。 □ □ □ 園路等の表層材料に関し、配合報告書により適切な配合規格が確認できる。 □ □ □ 平板、タイル舗装等の目ずれがなく、仕様書等に定められたとおり処理されていることが確認できる。 □ □ □ 排水勾配が適正に守られ、水溜まりが生じていない。 □ □ □ 植物、公園資材等による修景効果向上についての配慮が事前に十分検討され、良好な施工がうかがえる。 □ □ □ その他（ ） □ □ □ その他（ ）</div> <div><div>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</div></div>																																																																		
		<div>●判断基準</div> <div><div>1）試験結果の打点数等が10点以上の場合</div><table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">ばらつきの判断可能</th><th rowspan="2">ばらつきの判断不可能</th></tr><tr><th>50%以下</th><th>80%以下</th><th>80%を超える</th></tr><tr><td rowspan="4">評価値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a’</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a’</td><td>b</td><td>b’</td><td>b’</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b’</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b’</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table></div> <div><div>2）試験結果の打点数等が3点以上10点未満の場合</div><div>品質の良さの該当項目数と評価対象項目の履行状況から判断する。</div><div>【品質の良さ】（該当する全ての品質管理項目を該当項目とする） □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値を満足している。 □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の80%以内である。 □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の50%以内である。</div><table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">品質の良さの該当項目数</th><th rowspan="2">測定値が無い</th></tr><tr><th>3項目該当</th><th>2項目該当</th><th>1項目該当</th></tr><tr><td rowspan="4">評価値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a’</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a’</td><td>b</td><td>b’</td><td>b’</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b’</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b’</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table></div>									ばらつきの判断可能			ばらつきの判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a’	b	b	75%以上90%未満	a’	b	b’	b’	60%以上75%未満	b	b’	c	c	60%未満	b’	c	c	c			品質の良さの該当項目数			測定値が無い	3項目該当	2項目該当	1項目該当	評価値	90%以上	a	a’	b	b	75%以上90%未満	a’	b	b’	b’	60%以上75%未満	b	b’	c	c	60%未満	b’	c	c	c
		ばらつきの判断可能			ばらつきの判断不可能																																																															
		50%以下	80%以下	80%を超える																																																																
評価値	90%以上	a	a’	b	b																																																															
	75%以上90%未満	a’	b	b’	b’																																																															
	60%以上75%未満	b	b’	c	c																																																															
	60%未満	b’	c	c	c																																																															
		品質の良さの該当項目数			測定値が無い																																																															
		3項目該当	2項目該当	1項目該当																																																																
評価値	90%以上	a	a’	b	b																																																															
	75%以上90%未満	a’	b	b’	b’																																																															
	60%以上75%未満	b	b’	c	c																																																															
	60%未満	b’	c	c	c																																																															

考査項目別運用表

考 査 項 目		工 種	a	a’	b	b’	c	d	e		
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 二次製品構造物工事  （用排水構造物工、加バート工、擁壁工、石・ブロック積（張）工）  ※石・ブロック積（張）工については、「護岸・根固・水制工」に係るものを除く。	□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は「工事成績評定におけるばらつき判断等の手引き(案)」参照。					□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。		
			●評価対象項目 ○ × 対象外 【共通】 □ □ □ 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 □ □ □ 材料の品質規定証明書が整備されている。 □ □ □ JIS 規格外品について、仕様書で規定する規格、品質を満足している。 □ □ □ 基礎地盤の整形、清掃、湧水処理等が適切に実施されていることが確認できる。 □ □ □ 二次製品の保管、吊込み、据付等に十分注意を払っていることが確認でき、製品に有害なひび割れ、損傷等が無い。 □ □ □ 土留め、ウェルポイント等の仮設が適切に施工、管理されていることが確認できる。 □ □ □ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 □ □ □ その他（ ）								
			【用排水構造物工】 □ □ □ 位置、方向、高さ、勾配等について前後の施設又は地形になじみよく施工されている。 □ □ □ 不等沈下防止に配慮して、基礎地盤の締固めが入念に行われていることが確認できる。 □ □ □ 呑口、吐口、集水柵等の取り付けコンクリートにクラック等の欠陥がない。 □ □ □ 施設の流末は浸食、滞留等が生じないよう処理されている。 □ □ □ 不等沈下の発生がなく、基礎コンクリートの亀裂や継目部からの漏水も見られない。 □ □ □ 製品の継目部は隙間やズレがなく適切に施工されている。 □ □ □ 継目部の目地モルタルが適切に施工されている。 □ □ □ 製品周りの埋戻し・盛土の施工にあたり、巻出し・転圧が適切に施工されていることが確認できる。 □ □ □ その他（ ）								
			【プレキャスト加バート工、プレキャスト擁壁工、石・ブロック積（張）工等】 □ □ □ 胴込コンクリートや裏込材の充填が十分で空隙が生じていない。 □ □ □ 基礎コンクリート及び天端等の調整コンクリートにクラック等の欠陥がない。 □ □ □ 製品の連結又はかみ合わせが適切である。 □ □ □ 端部における地山とのすり付けが適切である。 □ □ □ 丁張りを2重・3重に設けるなど、法勾配、裏込材の厚さの確保のため細心の注意を払っていることが確認できる。 □ □ □ その他（ ）								

① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。  
② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
③ 評価値（        %）＝該当項目数（        ）／評価対象項目数（        ）  
④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は○評価とする。

●判断基準  
1）試験結果の打点数等が10点以上の場合  

		ばらつきの判断可能			ばらつきの判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a’	b	b
	75%以上90%未満	a’	b	b’	b’
	60%以上75%未満	b	b’	c	c
	60%未満	b’	c	c	c

  
2）試験結果の打点数等が3点以上10点未満の場合  
品質の良さの該当項目数と評価対象項目の履行状況から判断する。  
  
【品質の良さ】（該当する全ての品質管理項目を該当項目とする）  
□主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値を満足している。  
□主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の80%以内である。  
□主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の50%以内である。  

		品質の良さの該当項目数			測定値が無い
		3項目該当	2項目該当	1項目該当	
評価値	90%以上	a	a’	b	b
	75%以上90%未満	a’	b	b’	b’
	60%以上75%未満	b	b’	c	c
	60%未満	b’	c	c	c

## 考查項目別運用表

(検 査 員)

考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  <								



考査項目別運用表

(検 査 員)								
考 査 項 目	工 種	a	a’	b	b’	c	d	e
	□ 橋梁補修・補強工事 (その2)	●評価対象項目 ○ × 対象外 【伸縮装置取替え】 □ □ □ その他(ジョイント部のはつり作業にあたり、既設構造物に支障が無いことが確認できる。) □ □ □ その他(使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。) □ □ □ その他(据付は伸縮量が最も少ない時間を選んで作業していることが確認できる。) □ □ □ その他(コンクリートは、伸縮装置アンカー部に完全に行き渡るよう施工されていることが確認できる。) □ □ □ その他(コンクリート強度を確認した後、交通開放が行われていることが確認できる。) □ □ □ その他(縦横継目の位置及び構造物との接合面の処理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。) 【支障取替え】 □ □ □ その他(ジャッキアップ作業にあたり、圧力確認器具により圧力調整等を行っていることが確認できる。) □ □ □ その他(既設支承のはつり作業にあたり、既設構造物に支障が無いことが確認できる。) □ □ □ その他(使用する材料の品質・形状等が適切で有り、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。) □ □ □ その他(無収縮モルタルの硬化を確認後、ジャッキダウンを行っていることが確認できる。) □ □ □ その他(高さ調整にあたり、変形量等を考慮し上げ越し量設定していることが確認できる。)						

## 考查項目別運用表

(検 査 員)

考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																																																																
3. 出来形及び出来ばえ	□ 建築工事（簡易なもの）	<div>□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は「工事成績評定におけるばらつき判断等の手引き(案)」参照。</div>					□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																																																																
Ⅱ. 品質		<div>●評価対象項目</div> <div>○ × 対象外</div> <div>□ □ □ 材料の品質及び形状が設計図書等との適切性が確認でき、証明書が整備されている。</div> <div>□ □ □ 商品の品質及び形状が設計図書等との適切性が確認でき、証明書が整備されている。</div> <div>□ □ □ 機器等（設備等）の機能が設計図書等との適切性が確認でき、証明書が整備されている。</div> <div>□ □ □ 室内の塵芥処理等が適切に行われ、納まりの事前検討も十分実施され、良質な施工が伺える。</div> <div>□ □ □ その他（ )</div> <div>□ □ □ その他（ )</div> <div><div><div>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</div><div>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</div><div>③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）</div><div>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</div></div></div>																																																																						
		<div>●判断基準</div> <div>1）試験結果の打点数等が10点以上の場合</div> <table><tr><td colspan="2"></td><td colspan="3">ばらつきの判断可能</td><td rowspan="2">ばらつきの判断不可能</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>50%以下</td><td>80%以下</td><td>80%を超える</td></tr><tr><td rowspan="4">評価値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>b'</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table> <div>2）試験結果の打点数等が3点以上10点未満の場合</div> <div>品質の良さの該当項目数と評価対象項目の履行状況から判断する。</div> <div>【品質の良さ】（該当する全ての品質管理項目を該当項目とする）</div> <div>□主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値を満足している。</div> <div>□主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の80%以内である。</div> <div>□主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の50%以内である。</div> <table><tr><td colspan="2"></td><td colspan="3">品質の良さの該当項目数</td><td rowspan="2">測定値が無い</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>3項目該当</td><td>2項目該当</td><td>1項目該当</td></tr><tr><td rowspan="4">評価値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>b'</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table>									ばらつきの判断可能			ばらつきの判断不可能			50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c			品質の良さの該当項目数			測定値が無い			3項目該当	2項目該当	1項目該当	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきの判断可能			ばらつきの判断不可能																																																																			
		50%以下	80%以下	80%を超える																																																																				
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																																																			
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																																																			
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																																																			
	60%未満	b'	c	c	c																																																																			
		品質の良さの該当項目数			測定値が無い																																																																			
		3項目該当	2項目該当	1項目該当																																																																				
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																																																			
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																																																			
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																																																			
	60%未満	b'	c	c	c																																																																			



考査項目別運用表

(検 査 員)								
考 査 項 目	工 種	a	a’	b	b’	c	d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ  <								

※ 評定対象の工種には、工種名の前の「□」に「✓」を入れる。

## 考查項目別運用表

(検 査 員)

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

□ 通信設備工事・受変電設備工事

□ 上記以外の工事（情報ボックス、取壊し工等）又は合併工事

a

a'

b

b'

c

d

e

優れている

bより優れている

やや優れている

cより優れている

他の評価に該当しない

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

●評価対象項目

○ × 対象外

□ □ □ 設計図書に定められている品質管理を実施していることが確認できる。

□ □ □ 材料及び構成部品の品質及び形状について、設計図書等と適合が確認できる証明書等を整備していることが確認できる。

□ □ □ 材料の品質照合の結果が、品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。

□ □ □ 設備、機器の品質、機能及び性能が、成績等で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。

□ □ □ ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。

□ □ □ 設備全体としての運転性能が所定の能力を満足していることが確認できる。

□ □ □ 完成図書において、設備の機能並びに性能及び操作方法が容易に判別できる資料を整備していることが確認できる。

□ □ □ 完成図書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料を整備していることが確認できる。

□ □ □ 設備全体及び各機器において、設計図書に規定した品質及び性能を工場試験記録により確認できる。

□ □ □ 設備全体についての取扱説明書を工夫していることが確認できる。

□ □ □ 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。

□ □ □ 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。

□ □ □ その他（ ）

□ □ □ その他（ ）

●判断基準

※ 評価値が90%以上・・・a

※ 評価値が80%以上90%未満・・・a'

※ 評価値が70%以上80%未満・・・b

※ 評価値が60%以上70%未満・・・b'

※ 評価値が60%未満・・・c

① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。

② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③ 評価値（ ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）

④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は「工事成績評定におけるばらつき判断等の手引き(案)」参照。

●評価対象項目

○ ×

□ □ （ ）

□ □ （ ）

□ □ （ ）

□ □ （ ）

□ □ （ ）

□ □ （ ）

□ □ （ ）

□ □ （ ）

□ □ （ ）

●判断基準

＜A＞ 対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事

※ 該当項目が90%以上・・・a

※ 該当項目が80%以上90%未満・・・a'

※ 該当項目が70%以上80%未満・・・b

※ 該当項目が60%以上70%未満・・・b'

※ 該当項目が60%未満・・・c

＜B＞ 対象工事がばらつきによる評価が適切な工事

① 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

② 評価値（ ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）

③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

●判断基準

1) 試験結果の打点数等が10点以上の場合

ばらつきの判断可能

ばらつきの判断不可能

50%以下

80%以下

80%を超える

評価値

90%以上

75%以上90%未満

60%以上75%未満

60%未満

a

a'

b

b'

a'

b

b'

c

b

b'

c

c

2) 試験結果の打点数等が3点以上10点未満の場合

品質の良さの該当項目数と評価対象項目の履行状況から判断する。

【品質の良さ】（該当する全ての品質管理項目を該当項目とする）

□主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値を満足している。

□主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の80%以内である。

□主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の50%以内である。

品質の良さの該当項目数

測定値が無い

3項目該当

2項目該当

1項目該当

評価値

90%以上

75%以上90%未満

60%以上75%未満

60%未満

a

a'

b

b'

a'

b

b'

c

b

b'

c

c

※ 評価対象の工種には、工種名の前の「□」に「✓」を入れる。



### 考查項目別運用表

3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	□河道掘削工事	<div>&lt;A&gt;</div>	a	a'	b	b'	c	d	e																																																														
				優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	<div>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</div>	<div>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</div>																																																														
			<B>	<div>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。&lt;判断基準参照&gt; [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は「工事成績評定におけるばらつき判断等の手引き(案)」参照。</div>																																																																				
			<div>●評価対象項目 ○ × 対象外 <div><div><div>濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認出来る。</div><div>浚渫、掘削工の施工上の注意事項(仕様書等による)が守られていることが確認出来る。</div><div>規定された掘削深度が確保されており、掘削面下を乱さないよう施工されていることが確認できる。</div><div>土嚢の運搬が適切であり、運搬管理も良好であることが確認できる。</div><div>伐木、除根等の適切な運搬、積卸、処分を行っていることが確認できる。</div><div>廃棄物、投棄物等の処理を適切に行っていることが確認できる。</div><div>法面に有害な損傷部が無い。</div><div>その他（ ）</div><div>その他（ ）</div></div></div></div>																																																																					
			<div>注）&lt;A&gt; 欄、&lt;B&gt; 欄の適用について ①品質管理項目(ばらつき判断の対象となるもの)がある場合は&lt;B&gt; 欄を適用 [必要な試験項目・頻度を満たしていない場合は、ばらつき判断不可能の欄を適用] ②品質管理項目(ばらつき判断の対象となるもの)がない場合は&lt;A&gt; 欄を適用</div>																																																																					
			<div>① 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ② 評価値（      %）＝該当項目数（    ）／評価対象項目数（    ） ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</div>																																																																					
●判断基準																																																																								
<div>&lt;A&gt; 対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事</div> <div><div>※ 該当項目が90%以上・・・a ※ 該当項目が80%以上90%未満・・・a' ※ 該当項目が70%以上80%未満・・・b ※ 該当項目が60%以上70%未満・・・b' ※ 該当項目が60%未満・・・c</div></div>			<div>&lt;B&gt; 対象工事がばらつきによる評価が適切な工事</div> <div>1) 試験結果の打点数等が10点以上の場合</div> <table><tr><td></td><td></td><td colspan="3">ばらつきの半断可能</td><td rowspan="2">ばらつきの 判断不可能</td></tr><tr><td></td><td></td><td>50%以下</td><td>80%以下</td><td>80%を超える</td></tr><tr><td rowspan="4">評価値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>b'</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table>					ばらつきの半断可能			ばらつきの 判断不可能			50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<div>2) 試験結果の打点数等が3点以上10点未満の場合</div> <div>品質の良さの該当項目数と評価対象項目の履行状況から判断する。</div> <div>【品質の良さ】（該当する全ての品質管理項目を該当項目とする） □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値を満足している。 □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の80%以内である。 □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の50%以内である。</div> <table><tr><td></td><td></td><td colspan="3">品質の良さの該当項目数</td><td rowspan="2">測定値が無い</td></tr><tr><td></td><td></td><td>3項目該当</td><td>2項目該当</td><td>1項目該当</td></tr><tr><td rowspan="4">評価値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>b'</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table>					品質の良さの該当項目数			測定値が無い			3項目該当	2項目該当	1項目該当	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきの半断可能			ばらつきの 判断不可能																																																																			
		50%以下	80%以下	80%を超える																																																																				
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																																																			
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																																																			
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																																																			
	60%未満	b'	c	c	c																																																																			
		品質の良さの該当項目数			測定値が無い																																																																			
		3項目該当	2項目該当	1項目該当																																																																				
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																																																			
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																																																			
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																																																			
	60%未満	b'	c	c	c																																																																			

### 考查項目別運用表

(検 査 員)

3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	□残土処分工事	<table><tr><td>&lt;A&gt;</td><td>a 優れている</td><td>a' bより優れている</td><td>b やや優れている</td><td>b' cより優れている</td><td>c 他の評価に該当しない</td></tr><tr><td>&lt;B&gt;</td><td colspan="5">□品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。&lt;判断基準参照&gt; [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は「工事成績評定におけるばらつき判断等の手引き(案)」参照。</td></tr></table>	<A>	a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	c 他の評価に該当しない	<B>	□品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は「工事成績評定におけるばらつき判断等の手引き(案)」参照。					<table><tr><td>d</td><td>e</td></tr><tr><td>□品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</td><td>□品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</td></tr></table>	d	e	□品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	□品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。												
			<A>	a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	c 他の評価に該当しない																								
			<B>	□品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は「工事成績評定におけるばらつき判断等の手引き(案)」参照。																												
			d	e																												
			□品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	□品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																												
			<div>●評価対象項目</div> <div>○×対象外</div> <div><div><div><div>□現場出口からの土砂流出防止に努めていることが確認できる。</div><div>□土砂搬出先での敷均しを十分に行っていることが確認出来る。</div><div>□搬出先における処分量の確認(高さ、幅、長さ等)を行っていることが確認できる。</div><div>□運搬車両からの飛散防止等を行っていることが確認できる。</div><div>□その他（<div></div>）</div><div>□その他（<div></div>）</div><div>□その他（<div></div>）</div><div>□その他（<div></div>）</div></div></div></div>			<div>注）&lt;A&gt;欄、&lt;B&gt;欄の適用について</div> <div>①品質管理項目(ばらつき判断の対象となるもの)がある場合は&lt;B&gt;欄を適用</div> <div>[必要な試験項目・頻度を満たしていない場合は、ばらつき判断不可能の欄を適用]</div> <div>②品質管理項目(ばらつき判断の対象となるもの)がない場合は&lt;A&gt;欄を適用</div>																										
<div>①削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</div> <div>②評価値（%）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）</div> <div>③評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</div>																																
<div>●判断基準</div> <div><div><div>&lt;A&gt;対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事</div><div><div>※該当項目が90％以上・・・・・・・・a</div><div>※該当項目が80％以上90％未満・・・・a'</div><div>※該当項目が70％以上80％未満・・・・b</div><div>※該当項目が60％以上70％未満・・・・b'</div><div>※該当項目が60％未満・・・・・・・・c</div></div></div><div><div>&lt;B&gt;対象工事がばらつきによる評価が適切な工事</div><div>2）試験結果の打点数等が3点以上10点未満の場合</div><div>品質の良さの該当項目数と評価対象項目の履行状況から判断する。</div><div>【品質の良さ】（該当する全ての品質管理項目を該当項目とする）</div><div>□主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値を満足している。</div><div>□主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の80％以内である。</div><div>□主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の50％以内である。</div><div><table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">品質の良さの該当項目数</td><td rowspan="2">測定値が無い</td></tr><tr><td>3項目該当</td><td>2項目該当</td><td>1項目該当</td></tr><tr><td rowspan="4">評価値</td><td>90％以上</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>75％以上90％未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>b'</td></tr><tr><td>60％以上75％未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>60％未満</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table></div></div></div>					品質の良さの該当項目数			測定値が無い	3項目該当	2項目該当	1項目該当	評価値	90％以上	a	a'	b	b	75％以上90％未満	a'	b	b'	b'	60％以上75％未満	b	b'	c	c	60％未満	b'	c	c	c
		品質の良さの該当項目数			測定値が無い																											
		3項目該当	2項目該当	1項目該当																												
評価値	90％以上	a	a'	b	b																											
	75％以上90％未満	a'	b	b'	b'																											
	60％以上75％未満	b	b'	c	c																											
	60％未満	b'	c	c	c																											

### 考查項目別運用表

(検 査 員)

3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	□電気・被覆防食工事	<div><div>&lt;A&gt;</div><div><div>a</div><div>優れている</div></div><div><div>a'</div><div>bより優れている</div></div><div><div>b</div><div>やや優れている</div></div><div><div>b'</div><div>cより優れている</div></div><div><div>c</div><div>他の評価に該当しない</div></div></div>	<div><div>d</div><div><div><div>□</div><div>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</div></div></div></div>	<div><div>e</div><div><div><div>□</div><div>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</div></div></div></div>
			<div><div>&lt;B&gt;</div><div><div><div><div>□</div><div>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。&lt;判断基準参照&gt;</div></div><div>[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]</div><div>※ ばらつきの判断は「工事成績評定におけるばらつき判断等の手引き(案)」参照。</div></div></div></div>		
			<div><div>●評価対象項目</div><div><div><div>○ × 対象外</div><div>【電気防食工事】</div><div><div><div><div>□ □ □</div><div>材料の実施数量は設計数量を満足していることが確認できる。</div></div><div><div><div>□ □ □</div><div>陽極の種類化学成分が承認された品質に適合していることが確認できる。</div></div><div><div><div>□ □ □</div><div>陽極の形状寸法が承諾された形状寸法に適合していることが確認できる。</div></div><div><div><div>□ □ □</div><div>陽極の質量が承諾された質量に適合していることが確認できる。</div></div><div><div><div>□ □ □</div><div>陽極板の電流効率等(陽極電位、発生電流)が承諾された値に適合していることが確認できる。</div></div><div><div><div>□ □ □</div><div>陽極の取付け位置が適正に施工されていることが確認できる。</div></div><div><div><div>□ □ □</div><div>被覆溶接の形状寸法(のど厚、脚長、溶接長等)が施工されていることが確認できる。</div></div><div><div><div>□ □ □</div><div>電気防食の効果確認が整理・記録されていることが確認できる。</div></div><div><div><div>□ □ □</div><div>陽極溶接の下地処理、溶接に不良がないことが確認できる。</div></div><div><div><div>□ □ □</div><div>その他( )</div></div><div><div><div>□ □ □</div><div>その他( )</div></div></div></div></div><div>【被覆防食工事】</div><div><div><div>□ □ □</div><div>材料の実施数量は設計数量を満足していることが確認できる。</div></div><div><div><div>□ □ □</div><div>下地処理は適正で、ペースト塗布(範囲、塗布量)が適正であることが確認できる。</div></div><div><div><div>□ □ □</div><div>テープ巻きが適正に施工(巻き量、ラップ長など)されていることが確認できる。</div></div><div><div><div>□ □ □</div><div>保護カバーの種類、品質が承認された品質に適合していることが確認できる。</div></div><div><div><div>□ □ □</div><div>保護カバーの締め込み、接合は適正であることが確認できる。</div></div><div><div><div>□ □ □</div><div>その他( )</div></div><div><div><div>□ □ □</div><div>その他( )</div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div></div>	<div><div>注) &lt;A&gt; 欄、&lt;B&gt; 欄の適用について</div><div>①品質管理項目(ばらつき判断の対象となるもの)がある場合は&lt;B&gt; 欄を適用</div><div>[必要な試験項目・頻度を満たしていない場合は、ばらつき判断不可能の欄を適用]</div><div>②品質管理項目(ばらつき判断の対象となるもの)がない場合は&lt;A&gt; 欄を適用</div></div>	
<div><div>① 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</div><div>② 評価値 ( %) = 該当項目数 ( ) / 評価対象項目数 ( )</div><div>③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</div></div>					

<A> 対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事

※ 該当項目が90%以上 . . . . . a

※ 該当項目が80%以上90%未満 . . . . . a'

※ 該当項目が70%以上80%未満 . . . . . b

※ 該当項目が60%以上70%未満 . . . . . b'

※ 該当項目が60%未満 . . . . . c

<B> 対象工事がばらつきによる評価が適切な工事

1) 試験結果の打点数等が10点以上の場合

		ばらつきの判断可能			ばらつきの判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

2) 試験結果の打点数等が3点以上10点未満の場合

品質の良さの該当項目数と評価対象項目の履行状況から判断する。

【品質の良さ】(該当する全ての品質管理項目を該当項目とする)

□主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値を満足している。

□主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の80%以内である。

□主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の50%以内である。

		品質の良さの該当項目数			測定値が無い
		3項目該当	2項目該当	1項目該当	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c



### 考查項目別運用表

(検 査 員)

<div> <div>3. 出来形及び出来ばえ</div> <div>Ⅱ. 品質</div> </div>	<div> <div>□落石防止柵（網）設置工事</div> </div>	<div> <div> <div> <div>&lt;A&gt;</div> <div> <div>a</div> <div>優れている</div> </div> <div> <div>a'</div> <div>bより優れている</div> </div> <div> <div>b</div> <div>やや優れている</div> </div> <div> <div>b'</div> <div>cより優れている</div> </div> <div> <div>c</div> <div>他の評価に該当しない</div> </div> </div> <div> <div> <div>□</div> <div>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。&lt;判断基準参照&gt;</div> <div>[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]</div> <div>※ ばらつきの判断は「工事成績評定におけるばらつき判断等の手引き(案)」参照。</div> </div> <div> <div>●評価対象項目</div> <div>○ × 対象外</div> <div> <div>□ □ □ 地山との取り合わせが適切に行われていることが確認できる。</div> <div>□ □ □ 材料の規格が品質証明、ミルシート等で確認できる。</div> <div>□ □ □ ボルトや連結金具の締付が適切に施工されていることが確認できる。</div> <div>□ □ □ 網の重ね合わせが設計書どおり施工されていることが確認できる。</div> <div>□ □ □ ワイヤロープの初期張力が適切に緊張されていることが確認できる。</div> <div>□ □ □ 端部の処理が適切に行われていることが確認できる。</div> <div>□ □ □ 縦断勾配、内カーブの変化点の中間支柱に補強金具を必要に応じて取り付けていることが確認できる。</div> <div>□ □ □ アンカーや支柱等の根入れが設計図書通り施工されていることが確認できる。</div> <div>□ □ □ 落石防止網の施工前に、施工面の整理（最小限必要な伐採、浮石等の除去）を行っていることが確認できる。</div> <div>□ □ □ 落石防止網の材料に損傷、さび、不良箇所がなく、各種試験に合格していることが確認できる。</div> <div>□ □ □ その他（</div> <div>□ □ □ その他（</div> </div> </div> </div> <div> <div> <div>注）&lt;A&gt; 欄、&lt;B&gt; 欄の適用について</div> <div>①品質管理項目(ばらつき判断の対象となるもの）がある場合は&lt;B&gt; 欄を適用</div> <div>[必要な試験項目・頻度を満たしていない場合は、ばらつき判断不可能の欄を適用]</div> <div>②品質管理項目(ばらつき判断の対象となるもの)がない場合は&lt;A&gt; 欄を適用</div> </div> </div> </div></div>	<div> <div>□</div> <div>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</div> </div>	<div> <div>□</div> <div>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</div> </div>
		<div>●判断基準</div>		
		<div> <div>&lt;A&gt; 対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事</div> <div> <div> <div>※ 該当項目が90%以上 . . . . . a</div> <div>※ 該当項目が80%以上90%未満 . . . . . a'</div> <div>※ 該当項目が70%以上80%未満 . . . . . b</div> <div>※ 該当項目が60%以上70%未満 . . . . . b'</div> <div>※ 該当項目が60%未満 . . . . . c</div> </div> </div> </div>		
		<div> <div>&lt;B&gt; 対象工事がばらつきによる評価が適切な工事</div> <div> <div>1）試験結果の打点数等が 10 点以上の場合</div> <div> <div> <div> <div></div> <div> <div>ばらつきの判断可能</div> <div> <div>50%以下</div> <div>80%以下</div> <div>80%を超える</div> </div> </div> <div> <div>ばらつきの判断不可能</div> </div> </div> <div> <div> <div>評価値</div> <div> <div>90%以上</div> <div>75%以上90%未満</div> <div>60%以上75%未満</div> <div>60%未満</div> </div> </div> <div> <div>a</div> <div>a'</div> <div>b</div> <div>b'</div> </div> <div> <div>b</div> <div>b'</div> <div>c</div> <div>c</div> </div> </div> </div> </div> <div> <div>2）試験結果の打点数等が 3 点以上 10 点未満の場合</div> <div>品質の良さの該当項目数と評価対象項目の履行状況から判断する。</div> <div> <div>【品質の良さ】（該当する全ての品質管理項目を該当項目とする）</div> <div>□主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値を満足している。</div> <div>□主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の 8 0 % 以内である。</div> <div>□主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の 5 0 % 以内である。</div> </div> <div> <div> <div> <div>品質の良さの該当項目数</div> <div> <div>3項目該当</div> <div>2項目該当</div> <div>1項目該当</div> </div> </div> <div>測定値が無い</div> </div> <div> <div> <div>評価値</div> <div> <div>90%以上</div> <div>75%以上90%未満</div> <div>60%以上75%未満</div> <div>60%未満</div> </div> </div> <div> <div>a</div> <div>a'</div> <div>b</div> <div>b'</div> </div> <div> <div>b</div> <div>b'</div> <div>c</div> <div>c</div> </div> </div> </div> </div></div></div>		



### 考查項目別運用表

(検 査 員)

3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	□せん断補強鉄筋工事	<div><div>&lt;A&gt;</div><table><tr><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td></tr><tr><td>優れている</td><td>bより優れている</td><td>やや優れている</td><td>cより優れている</td><td>他の評価に該当しない</td></tr></table></div>	a	a'	b	b'	c	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	<div><div>&lt;B&gt;</div><div><div><div><div>□品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。&lt;判断基準参照&gt;</div><div>[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]</div><div>※ばらつきの判断は「工事成績評定におけるばらつき判断等の手引き(案)」参照。</div></div></div></div></div>	<div><div>&lt;D&gt;</div><div><div><div><div>□品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</div></div></div></div></div>	<div><div>&lt;E&gt;</div><div><div><div><div>□品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</div></div></div></div></div>
			a	a'	b	b'	c									
			優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない									
			<div>●評価対象項目</div> <div><div>○×対象外</div><div><div><div>□□□その他(使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。)</div><div>□□□その他(構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。)</div><div>□□□その他(監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。)</div><div>□□□その他(既設鉄筋の調査を行い、傷つけないよう配慮して施工していることが確認できる。)</div><div>□□□その他(せん断補強鉄筋について、適切な配置計画を策定し実施していることが確認できる。)</div><div>□□□その他(削孔について径、長さ、角度を適切に管理し施工していることが確認できる。)</div><div>□□□その他(注入材を適切に管理し引抜き試験等を実施していることが確認できる。)</div><div>□□□その他(</div></div></div></div>					<div>注) &lt;A&gt; 欄、&lt;B&gt; 欄の適用について</div> <div><div>①品質管理項目(ばらつき判断の対象となるもの)がある場合は&lt;B&gt; 欄を適用</div><div>[必要な試験項目・頻度を満たしていない場合は、ばらつき判断不可能の欄を適用]</div><div>②品質管理項目(ばらつき判断の対象となるもの)がない場合は&lt;A&gt; 欄を適用</div></div>								
			<div>●判断基準</div> <div><div>&lt;A&gt;対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事</div><div><div>※該当項目が90%以上</div><div>※該当項目が80%以上90%未満</div><div>※該当項目が70%以上80%未満</div><div>※該当項目が60%以上70%未満</div><div>※該当項目が60%未満</div></div></div>													

 <B>対象工事がばらつきによる評価が適切な工事  1)試験結果の打点数等が10点以上の場合   |     |            |           |       |         |            | |-----|------------|-----------|-------|---------|------------| |     |            | ばらつきの判断可能 |       |         | ばらつきの判断不可能 | |     |            | 50%以下     | 80%以下 | 80%を超える |            | | 評価値 | 90%以上      | a         | a'    | b       | b          | |     | 75%以上90%未満 | a'        | b     | b'      | b'         | |     | 60%以上75%未満 | b         | b'    | c       | c          | |     | 60%未満      | b'        | c     | c       | c          |  2)試験結果の打点数等が3点以上10点未満の場合  品質の良さの該当項目数と評価対象項目の履行状況から判断する。  【品質の良さ】(該当する全ての品質管理項目を該当項目とする)  □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値を満足している。  □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の80%以内である。  □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の50%以内である。 | || <A>対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事  ※該当項目が90%以上  ※該当項目が80%以上90%未満  ※該当項目が70%以上80%未満  ※該当項目が60%以上70%未満  ※該当項目が60%未満 | | | | | <B>対象工事がばらつきによる評価が適切な工事  1)試験結果の打点数等が10点以上の場合   |     |            |           |       |         |            | |-----|------------|-----------|-------|---------|------------| |     |            | ばらつきの判断可能 |       |         | ばらつきの判断不可能 | |     |            | 50%以下     | 80%以下 | 80%を超える |            | | 評価値 | 90%以上      | a         | a'    | b       | b          | |     | 75%以上90%未満 | a'        | b     | b'      | b'         | |     | 60%以上75%未満 | b         | b'    | c       | c          | |     | 60%未満      | b'        | c     | c       | c          |  2)試験結果の打点数等が3点以上10点未満の場合  品質の良さの該当項目数と評価対象項目の履行状況から判断する。  【品質の良さ】(該当する全ての品質管理項目を該当項目とする)  □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値を満足している。  □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の80%以内である。  □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の50%以内である。 | |
| <A>対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事  ※該当項目が90%以上  ※該当項目が80%以上90%未満  ※該当項目が70%以上80%未満  ※該当項目が60%以上70%未満  ※該当項目が60%未満 | | | | | <B>対象工事がばらつきによる評価が適切な工事  1)試験結果の打点数等が10点以上の場合   |     |            |           |       |         |            | |-----|------------|-----------|-------|---------|------------| |     |            | ばらつきの判断可能 |       |         | ばらつきの判断不可能 | |     |            | 50%以下     | 80%以下 | 80%を超える |            | | 評価値 | 90%以上      | a         | a'    | b       | b          | |     | 75%以上90%未満 | a'        | b     | b'      | b'         | |     | 60%以上75%未満 | b         | b'    | c       | c          | |     | 60%未満      | b'        | c     | c       | c          |  2)試験結果の打点数等が3点以上10点未満の場合  品質の良さの該当項目数と評価対象項目の履行状況から判断する。  【品質の良さ】(該当する全ての品質管理項目を該当項目とする)  □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値を満足している。  □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の80%以内である。  □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の50%以内である。 | |

### 考查項目別運用表

(検 査 員)

[illegible]











考査項目別運用表

(検 査 員)								
考 査 項 目	工 種	a	a’	b	b’	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ   <								





考査項目別運用表

							(検 査 員)	
考 査 項 目	工 種	a	a’	b	b’	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	□ その他（法面工事） （地山補強土工事）  （その１）	□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は「工事成績評定におけるばらつき判断等の手引き(案)」参照。					□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		●評価対象項目 ○ × 対象外 【共通】  □ □ □ 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。（最小限の樹木伐採や品質に害のある施工面の浮き石やゴミ等の除去） □ □ □ 施工に際して、法面崩壊が起こらないように切盛作業をしていることが確認できる。 □ □ □ 地山の乱れや不陸が生じないよう法面整形作業や不安定な凹凸除去作業を実施していることが確認できる。 □ □ □ 地山法面形状や残存樹木配置に合わせた地山補強工が行われていることが確認できる。 □ □ □ その他（ ）  						

考查項目別運用表

(検 査 員)									
考 査 項 目	工 種	a	a’	b	b’	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ  Ⅱ. 品質	□ その他（法面工事 （地山補強土工事） （その2）	●評価対象項目 ○ × 対象外 【アンカー工関係（ロックボルト、鉄筋挿入工含む）】 □ □ □ 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ □ □ アンカーの施工長さが確認できる。 □ □ □ アンカーの角度が測定されており、規格値内であることが確認できる。 □ □ □ 注入材（セメントカプセル）の充填が確認できる。 □ □ □ 注入材（セメントミルク等）の二次注入充填が確認できる。 □ □ □ アンカープレートと法面、法枠等の空隙がないようモルタル等で充填されている。 □ □ □ アンカーの緊張・定着等の確認試験等必要な試験が適正に行われている。 □ □ □ 防錆油が適正に充填され、キャップナット締付されていることが写真等で確認できる。 □ □ □ 工事残存物（セメントミルク、モルタル等）が除去され、法面仕上げが適正に行われている。 □ □ □ その他（							

考查項目別運用表

								(検 査 員)																														
考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																														
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	□ 地すべり防止 工事 (鋼管杭、集水井、 水抜)	□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は「工事成績評定におけるばらつき判断等の手引き(案)」参照。					□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督員が文書で指示 を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査員が修補指示を 行った。																														
		●評価対象項目 ○ × 対象外 □ □ □ 主要部材（鋼管杭等）の表面に損傷及び補修痕がない。 □ □ □ 鉄筋または鋼材の規格がミルシートで確認できる。 □ □ □ 杭の打止め管理方法または場所打ち杭の施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。 □ □ □ 横穴ボーリングの削孔角や鋼管杭の鉛直度が所定の基準値内であることが確認できる。 □ □ □ 溶接の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。 □ □ □ 裏込材注入の圧力等が施工記録により確認できる。 □ □ □ 注入モルタルの品質管理試験が適性に行われ、強度が確認できる。 □ □ □ 工事残存物（セメントミルク、モルタル等）が除去され、法面仕上げが丁寧に行われている。 □ □ □ ライナープレート組立にあたって、偏心と歪みが少なくなるよう配慮して施工している。 □ □ □ ライナープレートと地山の隙間が少なくなるよう施工している。 □ □ □ 集・排水ボーリング工の方向、角度が適正となるように施工上の配慮がなされている。 □ □ □ アンカーが設計図書どおりに施工していることが確認できる。 □ □ □ その他（																																				
<div>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値（        %）＝該当項目数（    ）／評価対象項目数（    ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</div>																																						
●判断基準  1) 試験結果の打点数等が10点以上の場合							<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">ばらつきの判断可能</td><td rowspan="2">ばらつきの 判断不可能</td></tr><tr><td>50%以下</td><td>80%以下</td><td>80%を超える</td></tr><tr><td rowspan="4">評 価 値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>b'</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table>				ばらつきの判断可能			ばらつきの 判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評 価 値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきの判断可能			ばらつきの 判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評 価 値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	
2) 試験結果の打点数等が3点以上10点未満の場合  品質の良さの該当項目数と評価対象項目の履行状況から判断する。  【品質の良さ】（該当する全ての品質管理目を該当項目とする。） □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値を満足している。 □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の80%以内である。 □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の50%以内である。							<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">品質の良さの該当項目数</td><td rowspan="2">測定値が無い</td></tr><tr><td>3項目該当</td><td>2項目該当</td><td>1項目該当</td></tr><tr><td rowspan="4">評 価 値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>b'</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table>				品質の良さの該当項目数			測定値が無い	3項目該当	2項目該当	1項目該当	評 価 値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
		品質の良さの該当項目数			測定値が無い																																	
		3項目該当	2項目該当	1項目該当																																		
評 価 値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	

考査項目別運用表

		(検 査 員)																																			
考 査 項 目	工 種	a	a’	b	b’	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	□捨石・被覆石＋魚礁製作据付工（鋼製魚礁、コンクリート魚礁）	□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は「工事成績評定におけるばらつき判断等の手引き(案)」参照。					□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																													
		●評価対象項目 ○ × 対象外 【捨石・被覆石】 □ □ □ 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 □ □ □ 既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 □ □ □ 気象・海象を調査し、潮位、潮流、波浪等の状況を十分把握して施工されていることが確認できる。 □ □ □ 台風などの異常気象に備えて、施工前に避難場所の確保及び退避設備の対策を講じていることが確認できる。 □ □ □ 仕様書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。 □ □ □ 捨石、被覆石など材料の規格・品質が試験成績表等（現地照合を含む）で確認できる。 □ □ □ マットが破損なく所定の幅で重ね合わせられていることが写真記録等により確認できる。 □ □ □ 捨石、被覆石及び根固め石がゆるみのないよう堅固に施工され、記録により確認できる。 □ □ □ 裏込めが既設構造物及び防砂目地板の破損がなく施工され、記録により確認できる。 □ □ □ その他（ ）																																			
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																			
		●判断基準 1）試験結果の打点数等が10点以上の場合																																			
		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">ばらつきの判断可能</th><th rowspan="2">ばらつきの判断不可能</th></tr><tr><th>50%以下</th><th>80%以下</th><th>80%を超える</th></tr><tr><td rowspan="4">評価値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a’</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a’</td><td>b</td><td>b’</td><td>b’</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b’</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b’</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table>								ばらつきの判断可能			ばらつきの判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a’	b	b	75%以上90%未満	a’	b	b’	b’	60%以上75%未満	b	b’	c	c	60%未満	b’	c	c	c
		ばらつきの判断可能			ばらつきの判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
評価値	90%以上	a	a’	b	b																																
	75%以上90%未満	a’	b	b’	b’																																
	60%以上75%未満	b	b’	c	c																																
	60%未満	b’	c	c	c																																
		2）試験結果の打点数等が3点以上10点未満の場合 品質の良さの該当項目数と評価対象項目の履行状況から判断する。  【品質の良さ】（該当する全ての品質管理目を該当項目とする。） □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値を満足している。 □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の80%以内である。 □主たる工種における品質管理項目の全ての測定値が規格値の50%以内である。																																			
		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">品質の良さの該当項目数</th><th rowspan="2">測定値が無い</th></tr><tr><th>3項目該当</th><th>2項目該当</th><th>1項目該当</th></tr><tr><td rowspan="4">評価値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a’</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a’</td><td>b</td><td>b’</td><td>b’</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b’</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b’</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table>								品質の良さの該当項目数			測定値が無い	3項目該当	2項目該当	1項目該当	評価値	90%以上	a	a’	b	b	75%以上90%未満	a’	b	b’	b’	60%以上75%未満	b	b’	c	c	60%未満	b’	c	c	c
		品質の良さの該当項目数			測定値が無い																																
		3項目該当	2項目該当	1項目該当																																	
評価値	90%以上	a	a’	b	b																																
	75%以上90%未満	a’	b	b’	b’																																
	60%以上75%未満	b	b’	c	c																																
	60%未満	b’	c	c	c																																

考査項目別運用表

(検 査 員)				
考 査 項 目	工 種	a	b	c
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない
3. 出来形及び出来ばえ  Ⅲ. 出来ばえ	<input type="checkbox"/> コンクリート構造物工事 <input type="checkbox"/> 砂防構造物工事 <input type="checkbox"/> トンネル工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 漏水が無い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d
	<input type="checkbox"/> 土工事 （盛土・築堤工事等）	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけなどが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d
	<input type="checkbox"/> 切土工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 規定された勾配が確保されている。 <input type="checkbox"/> 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 法面勾配の変化部について、干渉部を設けるなど適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 <input type="checkbox"/> 関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d
	<input type="checkbox"/> 護岸・根固・水制工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 材料のかみ合わせがよく、クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d
	<input type="checkbox"/> 鋼橋工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 表面に補修箇所が無い。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。 <input type="checkbox"/> 溶接に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d
	<input type="checkbox"/> 地すべり防止工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 地山との取り合いが良い。 <input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d
	<input type="checkbox"/> 舗装工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 雨水処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d
	<input type="checkbox"/> 法面工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 植生、吹付等の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d

※ 評定対象の工種には、工種名の前の「□」に「✓」を入れる。

考査項目別運用表

(検 査 員)				
考 査 項 目	工 種	a	b	c
		優れている	やや優れている	他の評価に該当し又は
3. 出来形及び出来ばえ  Ⅲ. 出来ばえ	<input type="checkbox"/> 基礎工事及び地盤改良工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 土工関係の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部及び天端の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 ※地盤改良はc評価とする。		
	<input type="checkbox"/> コンクリート橋上部工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 支承部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		
	<input type="checkbox"/> 塗装工事 (工場塗装を除く)	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 塗装の均一性が良い。 <input type="checkbox"/> 細部まできめ細かな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 補修箇所が無い。 <input type="checkbox"/> ケレンの施工状況が良好である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		
	<input type="checkbox"/> 植栽工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 樹木の活着状況が良い。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けが堅固である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		
	<input type="checkbox"/> 防護柵設置工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細やかに施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		
	<input type="checkbox"/> 標識設置工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 設置位置に配慮がある。 <input type="checkbox"/> 標識板の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 標識板の支柱に変色が無い。 <input type="checkbox"/> 支柱基礎が入念に埋め戻されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		
	<input type="checkbox"/> 区画線設置工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 塗料の塗布が均一である。 <input type="checkbox"/> 視認性が良い。 <input type="checkbox"/> 接着状態が良い。 <input type="checkbox"/> 施工前の清掃が入念に実施されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		
	<input type="checkbox"/> 電線共同溝工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 歩道及び車道の舗装(含、仮復旧舗装)の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。 <input type="checkbox"/> プレキャストコンクリートブロックの蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから、不可視部分の出来映えの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		

※ 評定対象の工種には、工種名の前の「□」に「✓」を入れる。

考査項目別運用表

(検 査 員)				
考 査 項 目	工 種	a	b	c
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない
3. 出来形 及び 出来ばえ  Ⅲ. 出来ばえ	<input type="checkbox"/> 維持・修繕工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 小構造物等にも注意が払われている。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d
	<input type="checkbox"/> 港湾・海岸工事 (浚渫工事) (地盤改良工事)	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 規定された水深・勾配又は改良深度等が確保されている。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分のできばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 施工後の表面及び底面等の全体的な仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 浚渫及び盛り等土砂が適切に処理されている。		●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d
	<input type="checkbox"/> 港湾・海岸工事 (捨石・被覆石工) (本体工)	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 構造物等の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分のできばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 構造物等の表面及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d
	<input type="checkbox"/> 下水道工事 (管渠工)	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 切土、埋戻、盛土の仕上り状態が良い。また沈下等がない。 <input type="checkbox"/> インパートの仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 管口の処理が良い。 <input type="checkbox"/> 管渠の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良く、水溜まり等が生じていない。 <input type="checkbox"/> 舗装の構造物等へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 排水施設の蓋のがたつきがなく、型枠にゴミがたまっていない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観がよい。		●判断基準 該当7項目以上・・・a 該当5項目以上・・・b 該当4項目・・・c 該当3項目以下・・・d
	<input type="checkbox"/> 下水道工事 (処理場躯体工)	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 切土、埋戻、盛土の仕上り状態が良い。また沈下等がない。 <input type="checkbox"/> 基礎工について施工管理記録等から可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の肌が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> スラブ上に水溜まりが生じない配慮がある。 <input type="checkbox"/> 湧水がない。 <input type="checkbox"/> 防食塗装の端部、突起部等の処置が良い。 <input type="checkbox"/> 足掛け金物等が等間隔、水平、所定の埋込長で施工されている。 <input type="checkbox"/> 開口部の蓋の開閉作業がスムーズに行える。 <input type="checkbox"/> 角落しがスムーズに設置、撤去ができる。 <input type="checkbox"/> フェンスのがたつきが無く、通りが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当11項目以上・・・a 該当8項目以上・・・b 該当7項目・・・c 該当6項目以下・・・d
	<input type="checkbox"/> 公園施設整備工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 施設構造物の肌、通り、収まり等仕上げの状態が良い。 <input type="checkbox"/> 園路等の舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 遊具等の作動が安全でかつ良好に作動する。 <input type="checkbox"/> 維持管理等の配慮が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d
	<input type="checkbox"/> 二次製品構造物工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 材料の連結、かみ合わせが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 土工の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当6項目以上・・・a 該当5項目・・・b 該当4項目・・・c 該当3項目以下・・・d

※ 評定対象の工種には、工種名の前の「□」に「✓」を入れる。



考査項目別運用表

(検 査 員)				
考 査 項 目	工 種	a	b	c
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない
3. 出来形 及び 出来ばえ  Ⅲ. 出来ばえ	<input type="checkbox"/> 補強土壁工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 壁面材(コンクリート製品)の割れ・カケがない。 <input type="checkbox"/> 基礎上面の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 壁面材の目違い、段差が少なく構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		
	<input type="checkbox"/> 橋梁補修・補強工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 小構造物にも細心の注意が払われている。 <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある。 <input type="checkbox"/> ケレンの施工状況が良い。 <input type="checkbox"/> 溶接に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		
	<input type="checkbox"/> 建築工事 (簡易なもの)	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 建築物の通り、形状が良い。 <input type="checkbox"/> 仕上げの均一性、平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 機能面での配慮が適切である。 <input type="checkbox"/> 防水の納まりが良好である。 <input type="checkbox"/> 建具の取り付け、作動が良い。 <input type="checkbox"/> 関連工事との取り合いが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		
	<input type="checkbox"/> 機械設備工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 主設備、関連設備及び操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が良い。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 土木構造物、既設設備等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 溶接、塗装、組立等にあたって、細部に渡る配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		
	<input type="checkbox"/> 電気設備工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。 <input type="checkbox"/> ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。 <input type="checkbox"/> 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		
	<input type="checkbox"/> 通信設備工事 受変電設備工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 主設備、関連設備等にきめ細かな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能や運用性が良い。 <input type="checkbox"/> 当該設備及び関連設備が全体的に協調及び統制され、総合的な性能向上への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		
	<input type="checkbox"/> 通信設備工事、受変電 設備工事以外の工事 (情報ボックス、取壊し工 等)又は合併工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )  ※ 該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。		

※ 評定対象の工種には、工種名の前の「□」に「✓」を入れる。

考査項目別運用表

(検 査 員)				
考 査 項 目	工 種	a	b	c
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない
3. 出来形 及び 出来ばえ  Ⅲ. 出来ばえ	<input type="checkbox"/> 仮設工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 鋼矢板・親杭の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 覆工板にがたつきがない。 <input type="checkbox"/> 鋼矢板のかみ合わせ等不良部分がない。 <input type="checkbox"/> 床付け面の仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。  ※ 該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。		
	<input type="checkbox"/> 河道掘削工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 取り合い部のすりつけ状態が良い。 <input type="checkbox"/> 施工後の表面及び底面等全体的な仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 規定された水深・勾配が確保されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。  ※ 該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。		
	<input type="checkbox"/> 残土処分工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 規定された勾配が確保されている。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 <input type="checkbox"/> その他（ ）  ※ 該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。		
	<input type="checkbox"/> 電気・被覆防食工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 構造物の表面及び端部の仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。  ※ 該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。		
	<input type="checkbox"/> 取壊し工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 既存部や関連施設と調整がなされている。 <input type="checkbox"/> 取壊し後の整地等仕上がりの状態が良好である。 <input type="checkbox"/> 取壊し対象(リサイクル材、産業廃棄物等)の散乱がなく処理が適切である。 <input type="checkbox"/> 施工記録から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。  ※ 該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。		
	<input type="checkbox"/> 落石防止柵(網)設置工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 地山や既設構造物との取り合いが良い。 <input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷、錆がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。  ※ 該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。		
	<input type="checkbox"/> せん断補強鉄筋工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 小構造物にも注意が払われている。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 <input type="checkbox"/> その他（ ）  ※ 該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。		

※ 評定対象の工種には、工種名の前の「□」に「✓」を入れる。

考査項目別運用表

(検 査 員)					
考 査 項 目	工 種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	□ 防舷材、車止め設置工事	●評価対象項目 □ 通りが良い。 □ 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 □ 構造物の表面及び端部の仕上げが良い。 □ きめ細やかな施工がなされている。 □ 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当 4 項目以上・・・a 該当 3 項目・・・・・・b 該当 2 項目・・・・・・c 該当 1 項目以下・・・d	
Ⅲ. 出来ばえ		※ 該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大 5 項目とする。			
	□ ため池整備工事	●評価対象項目 ○ × 対象外 □ □ □ 既設水路等との取り合いや構造物間接合が適切に行われている。 □ □ □ 地山とのすりつけや土羽の仕上げが良い。 □ □ □ コンクリート構造物の肌が良い。 □ □ □ コンクリート構造物の通りが良い。 □ □ □ 取水ゲート施設（斜樋管、底樋管等）の操作性が良く、部材表面に傷及び錆が無い。 □ □ □ 二次製品の通りがよく、製品の連結、かみ合わせが良い。 □ □ □ 安全柵、利活用保全施設等の出来ばえが良い。 □ □ □ コンクリート構造物等に有害なクラックがない。 □ □ □ アスファルト舗装（又は舗装復旧仕上）の平坦性が良い。 □ □ □ 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目が 80%以上・・・・・・a 該当項目が 60～80%未満・・・・b 該当項目が 50～60%未満・・・・c 該当項目が 50%未満・・・・・・d	<div>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値（       %）＝該当項目数（    ）／評価対象項目数（    ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が 2 項目以下の場合は c 評価とする。</div>
	□ ほ場整備工事	●評価対象項目 ○ × 対象外 □ □ □ 基盤均平、表土均平、雑物除去の仕上りが良い。 □ □ □ 畦畔工、溝畔工、道路工の水平面仕上げ、法面仕上げが良い。 □ □ □ 二次製品の通りがよく、製品の連結、かみ合わせが良い。 □ □ □ 取水（排水）ゲート、制水弁、給水栓、ポンプ施設等の操作性が良く、部材表面に傷及び錆が無い。 □ □ □ 構造物にクラックや欠けが無い。 □ □ □ 構造物周辺の埋戻しや既設構造物とのすりつけが良い。 □ □ □ 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 □ □ □ 舗装（又は舗装復旧仕上）の平坦性が良い。 □ □ □ 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目が 80%以上・・・・・・a 該当項目が 60～80%未満・・・・b 該当項目が 50～60%未満・・・・c 該当項目が 50%未満・・・・・・d	<div>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値（       %）＝該当項目数（    ）／評価対象項目数（    ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が 2 項目以下の場合は c 評価とする。</div>
	□ パイプライン工事	●評価対象項目 ○ × 対象外 □ □ □ 切土、埋戻、盛土の仕上がり状況がよく、沈下がない。 □ □ □ 施工管理記録等で整理された内容から、不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 □ □ □ 取水（排水）ゲート、制水弁、給水栓、ポンプ施設等の操作性が良く、保守点検が容易である。 □ □ □ 機械設備の部材表面に傷及び錆が無く、塗装仕上げが良い。 □ □ □ 構造物周辺の埋戻し並びに、舗装復旧の既設構造物とのすりつけが良い。 □ □ □ 舗装（又は舗装復旧仕上）の平坦性が良く、水溜まり等が生じていない。 □ □ □ 全体的にきめ細やかな施工がなされ仕上がり状態が良い。		●判断基準 該当項目が 80%以上・・・・・・a 該当項目が 60～80%未満・・・・b 該当項目が 50～60%未満・・・・c 該当項目が 50%未満・・・・・・d	<div>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値（       %）＝該当項目数（    ）／評価対象項目数（    ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が 2 項目以下の場合は c 評価とする。</div>
	□ 農道・林道工事	●評価対象項目 ○ × 対象外 □ □ □ 構造物の通りが良い。 □ □ □ 天端仕上げ、端部仕上げ、端部処理、構造物へのすりつけ等が良い。 □ □ □ コンクリートの肌が良い。 □ □ □ 構造物にクラックや欠けが無い。 □ □ □ 路面や法面の雨水処理が良い。 □ □ □ 植生、吹付等の状態が均一である。 □ □ □ 法面の浮石除去等表面が適切に施工されている。 □ □ □ 構造物に傷や汚れが少ない。 □ □ □ 防護柵や安全施設が適切に設置されている。 □ □ □ 舗装（又は舗装復旧仕上）の平坦性が良い。 □ □ □ 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目が 80%以上・・・・・・a 該当項目が 60～80%未満・・・・b 該当項目が 50～60%未満・・・・c 該当項目が 50%未満・・・・・・d	<div>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値（       %）＝該当項目数（    ）／評価対象項目数（    ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が 2 項目以下の場合は c 評価とする。</div>

※ 評定対象の工種には、工種名の前の「□」に「✓」を入れる。

考査項目別運用表

		(検 査 員)			
考 査 項 目	工 種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ     Ⅲ. 出来ばえ	<input type="checkbox"/> 法面工事 (地山補強土工事)	<div> <div> ●評価対象項目  ○ × 対象外  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 法面の浮石等を除去し、地山に密着して補強部材が張られている。  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 部材の連結、かみ合わせが良く、極端な弛みがない。  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 通りがよく、端部処理が適切である。  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 立木周りの地山補強処理が的確である。  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工で、出来映えの良さが伺える。  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事残存物が適切に処理され、全体的な美観が良い </div> <div> ●判断基準  該当項目が 80%以上・・・a  該当項目が 60～80%未満・・・b  該当項目が 50～60%未満・・・c  該当項目が 50%未満・・・d </div> <div>                     ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                      ③ 評価値 (        %)＝該当項目数 (    )／評価対象項目数 (    )                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。                 </div> </div>			
	<input type="checkbox"/> 捨石・被覆石＋魚礁製作据付工(鋼製魚礁、コンクリート魚礁)	<div> <div> ●評価対象項目  ○ × 対象外  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 捨石や魚礁等の通りがよい。  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から、不可視部分の出来映えの良さがうかがえる。  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 構造物等の表面及び端部の仕上げが良い。  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工で、出来映えの良さが伺える。  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 </div> <div> ●判断基準  該当4項目以上・・・a  該当3項目・・・b  該当2項目・・・c  該当1項目以下・・・d </div> </div>			
	<input type="checkbox"/>				
	<input type="checkbox"/>				
	<input type="checkbox"/>				

※  評価対象の工種には、工種名の前の「□」に「✓」を入れる。

